Vol. 18 No. 4824 Tuesday April 10 1923 TAIRIKU NIPPO 第四千八百廿四號 (火曜日) 大正十二年四月十日

大陸日報
TAIRIKU NIPPO
THE CONTINENTAL DAILY NEWS
Published Daily Except Sunday
138 Cordova St. E.
Vancouver, B. C.
Published by Yasushi Yamazaki
電話 三〇六五 晩香坂市東カードバ街一三五 レーモア二四六六 俱一切前金ソノ他 壹ケ月 壹八弗貳拾五仙 壹ケ月 四弗貳拾五仙 本紙定價 六ケ月 三弗七拾五仙

○味噌○醤油 落合商店 御便利を計ります
堀内真廣 電話シーモア二四六〇
○乳母車、家具、玩具類

陸奥生

人は何れだけの土地を要するか(九)

◇レオ・トルストイ

はじめ彼は中位な足どりで歩いた。一哩の三分の二ばかり行つたところで小さな穴を掘つて、夫れを印として、芝草を積みあげた。それから彼は歩きつゞけた。大股になつて速力が増してきた。少時して彼は第二の穴を掘り、夫れから第三、第四と掘つて行つた。彼は後方を振り返つた。丘は日光の中に明らかに眺められ、其の上に人々が立つてゐた。そして車の輪輪は光線でキラ〜と輝いてゐた。バコムは五露里は確に歩いたと思つた。だん〳〵熱くなつたので彼は上衣を脱いで肩にかけて進んで行つた。少したつてから太陽を見あげると、朝飯時であつた。

「一日の四分の一たつたと」とバコムは思つた「まだ四分の三ある、向きを換へるのにはまだ早や過ぎる、靴を脱いでやらう」

彼は坐つて、靴を脱いで、腰に結びつけて歩き出した。

すると歩きよかつた、で、彼は思つた「もう五露里荒廻りに行つてやらう、夫れから左の方へ廻らう、素晴らしい土地だ、私は此所から離れ度くない、除草行けば行くほど宜い」

彼は中位な足どりで歩いた。一哩の三分の二ばかり行つたところで小さな穴を掘つて、夫れを印として、芝草を積みあげた。それから彼は歩きつゞけた。大股になつて速力が増してきた。少時して彼は第二の穴を掘り、夫れから第三、第四と掘つて行つた。彼は後方を振り返つた。丘は日光の中に明らかに眺められ、其の上に人々が立つてゐた。そして車の輪輪は光線でキラ〜と輝いてゐた。バコムは五露里は確に歩いたと思つた。だん〳〵熱くなつたので彼は上衣を脱いで肩にかけて進んで行つた。少したつてから太陽を見あげると、朝飯時であつた

「一日の四分の一たつたと」とバコムは思つた「まだ四分の三ある、向きを換へるのにはまだ早や過ぎる、靴を脱いでやらう」

彼は坐つて、靴を脱いで、腰に結びつけて歩き出した。

すると歩きよかつた、で、彼は思つた「もう五露里荒廻りに行つてやらう、夫れから左の方へ廻らう、素晴らしい土地だ、私は此所から離れ度くない、除草行けば行くほど宜い」

やつと、みんなは仕度が出来た。或るものは車で行き、或るものは馬で行き、或るものは車で行き、或るものは徒歩で行き、バコムと其の僕とは自分たちの車で出かけた。彼等が草原へ来ると、恰度夜があけてゐた。彼等は一つの丘(バシュキール人たちがシカーンと呼んでゐるところの)へついた、車は馬を離れて、頂きに集まつた。長老はバコムのところへやつてきて、手を振つた。

「みんな来た、これは君のものです」と彼は云つた「お前さんの目の届く限りね、氣に入つたところをとりなさい」

バコムの目は光つた。見渡す限り草のやうに平かな、草に掩はれた荒廃地であつた、地は肥沃の種子みたいに黒かつた。そして凹地々々に枯草が人の腰はでも高く生えてゐた。

長老は帽子をとつて地上においた。

「さテ」と彼は云つた「これが目標だ、此所から出かけて此所へ帰つてお出でなさい、お前さんが歩き廻つただけはお前さんのものだ」

バコムは金を取りだして、夫れを帽子に入れた、袖の長い外套をとりのけ、上衣だけになつて、ベルトを締めあげ、パンを入れた小さいバッグを胸におしこみ、水入れを腰に結びつけ、長靴をひきあげて鋤をとり、出かけるばかりに身仕度をした。彼は躊躇した、何方へ行くとも決心がつきかねたのである。何方も〳〵もみんな好かつた。

「樹つたとてはない」と彼は考へた「太陽の昇る方へ真直ぐに行つてやれ」

彼は太陽の方へ自分の顔を向けた、そして手柄を誇つて、太陽が地平線上へ昇るのを待つてゐた。

「一秒毎つて無駄にしてはならん」と彼は考へた「それに涼い方が歩くに好い」

最初の光線が曙野に射渡つた瞬間バコムは鋤を肩にかけて丘を下つて行つた。

科學と宗教戰(十三)

理學博士 松村松年

建設は破壊に初まるもので、建設は出來ない、時代の要求によりて宗教は爆度か建設せられ、また破壊せられた、今もまた新しい宗教が目前に建設せられんとしてゐる、彼のキリスト教や仏教のいはゆる愛や無抵抗や解脱や信仰境の念は既分なりともプルジョアの奴隷性を緩和したにはちがひない、然れどもまた一方にはプロレタリアットの奴隷的の精神を助長し、獨立自尊の觀念を抑壓したとは否されない、無論われの敵を愛し右の頬的の無抵抗で行けば即ち平和は保てるにちがひないが、それでは人間性を脱却して死人と同然になる、人は死に到るまで劍を執りて立たねばならぬ、闘爭や戰爭は世を文明にみちびくの方便である、これが生物界の進歩に必然的のものである、悲哀や苦痛や心配の多き現代より解脱して自由の信仰境に遊遨する事は如何にも望ましい、何れにせよ他力によれる平和や解脱は東の間の自然なることをわすれてはならない、人は何ゆゑに色々の苦悩を脱せんがために奮闘せざるかである、この他力がどれ程人間を惰弱にしたか知れない、天に向かつて七輪八苦をわれに與へ給へといのつた山中鹿之助の様な勇氣を何ゆゑにやしなはないのであるか、ボーロはわれ弱きがゆゑに強しの言に倣ひ弱くならなければ天國に入れず神の子にもなり得ざるが如く心得てゐる宗教が若し現代に於ありとすれば、彼れ等は即ち民族の敵であり、また國をほろぼすものである、プルジョアに對し必要はないが、無智なるプロレタリアットには或ひはその必要がある、彼の犬が横臥するまへに必ずしも生活は天國にある、此世では

▲「山の空氣を吸ふために町へ行かう」かういふ言葉が數年のうちに流行語となつて、其時は田舎の人達がこぞつて紐育其他の大都市へ集まるだらう、かう米國の一科學雜誌でジョーセフ・クラウスといふ人が述べてゐる、これは遠い田舎から水道で都會へ水を引いてくるやうに、遠い山の涼しい新鮮な空氣を都會へ引かうといふ案だ紐育では百十四哩を隔てゐるキャッツキル山から水道を引いてゐる、クラウス氏はその導管を利用して、先づ紐育へ夏季清潔な空氣を供給しようといふのである

▲紐育は東京などよりもずつと緯度が北にあるが、高い建物の多い事、石やテラコックが溜山使つてある事其他の關係から夏は甚だ暑い、そこでハドソン河の性とりでは瞬間バコムは鋤を肩にかけて丘を下つて行つた。

都會人に新鮮な空氣を

◆文明消息◆

■山の空氣を水道管利用で都會へ供給■

ない、この世は苦と悲しみとにみちてゐる、ゆめの世である、心配と煩悶にみちてゐる、まぼろしの世である、寧ろこの世を去つてあの世に行けといふ様な消極的、悲觀的の宗教は大いに世を害するものなる事をわすれてはならぬ、ニイチエはキリスト教の道德は奴隷道德であるとの〳〵しつてゐるが、まことに無理ならずである、自己の權利を主張する事は小我の事で煩悶である、小我を捨て〳〵大我にいきよとをしへて見た所が、今では無智なるものと嘲もこれに服從しなくなつた、凡そ人間には運もあればまこともあり、また機會もある、されど他力を主とすれば益す弱くなるの恐れがある、ゆゑに今日の科學の主張は健康と意志とにしかして頑の發達をも計り、人をして生存競爭の優勝者たらしめんとするにある、いはゆるニイチエの超人となつて奮闘的の活動に從事せしめねばならぬ、人類は迷信によりて何世紀おくれてゐるかは不明であるが、恐らくはそれが數世紀はおくれてゐるであらうとは學者の主張である、迷信は可成社會に強き勢力を有するもので、殊に因襲的の迷信を打破することは仲々容易でなく非常に長き年月を要する、今日迷信は餘程うすらいできたとはいへだ〳〵廢んである、彼の犬が横臥するまへに必ずしも生活は天國にある、此世では

▲先づ山の附近の水道管のうち大主幹の處々へ大きな吸入器を取りつける、さうすると水の流れ下る力によつて、多量の空氣がすひ込まれて、水道管の上層の空所を流れて行く、途中に時水槽があつて一寸空氣の通過を邪魔しさうであるが、事實は其中にポケットがあつて、空氣を都市へ送るに差支へない、かくて都市に近づくと、その處々に用意してある送風扇のために多くの地下線に吹き送られ、さうして其冷い、健康に適した山の空氣は、多量に都市居住者のもとへ供給せられるのである

▲勿論それには種々の點に附加工事が必要である、例へばキャッツキル山から引く水道管のみでは空氣を導く量が足らぬ、そこでそれに附加して導管を設ける要がある

▲「山の空氣を水道管利用で都會へ供給」

▲先づ山の附近の水道管のうち大主幹の處々へ大きな吸入器を取りつける、さうすると水の流れ下る力によつて、多量の空氣がすひ込まれて、水道管の上層の空所を流れて行く、途中に時水槽があつて一寸空氣の通過を邪魔しさうであるが、事實は其中にポケットがあつて、空氣を都市へ送るに差支へない、かくて都市に近づくと、その處々に用意してある送風扇のために多くの地下線に吹き送られ、さうして其冷い、健康に適した山の空氣は、多量に都市居住者のもとへ供給せられるのである

▲勿論それには種々の點に附加工事が必要である、例へばキャッツキル山から引く水道管のみでは空氣を導く量が足らぬ、そこでそれに附加して導管を設ける要がある

日本維信

聽け！虐られたる人々の悲痛なる叫びを

差別撤廢の目的を達せねば歸へらぬといふ水平社同人の意氣

九日夜突如として入京した全國水平社大會代表若狹平野小劍氏は中央執行委員長南梅吉栗須七郎氏等と共に、京橋の東風で十日早朝から今後の運動方法に就いて熱議した結果同夜は八時半から赤坂青山樓を訪ひ十一時歸つたが、大官を驚倒し差別撤廢の大旗の下に旗幟を求め初志を貫徹せぬ限りは決して歸らぬ決心である、平野南梅氏の談に依ると二百萬人の水平社同人が現代にあるまじき奇々怪々な差別待遇に泣かれてゐることが明瞭に事實となつて展開されることは知る人も少からう、曰く

「大臣無能が吾等のために盡してくれるかといふのですか、とんでもない、あの皇室會は毎年内務省から三千圓ほどを恵めに渡げられたもので活動どころかみんな遊んでゐるんです」と大木伯メチャ〜である「こにやく吾々は

その部落をめぐる人々

に一々見せられる、ユダヤ人以上といふが滴滴たる昨年の紀元節には十三の勝利一勝が到るところ〜エタノ〜といはれるのを私は十三年以上は生てゐられぬ、痛なる遺書をのこして自殺した烏縣の師範を最優等で卒業した禍敎員は庄内小學校につとめ機敏員と並交のやうに生徒になつかれて居たが一度その出生地を

知るこ

父兄が同盟して休校させ、その更迭を強ひた、まだこんな例は澤山ある、虐げられつゝ國民若兵の義務に服し、しかも差別的待遇を受ける兵士が絶死する、脱走するけれども世間には少しも涙がない統治に依ると民族的偏愛に依つて斬つた、殺した、

精神的

から來た自殺者が一年に二百名内外に上る

「人は『平等』といふ信條をぶら下げた酒氏の憤慨はたんぺん、前潮する二同じ小學生でも我々の子供にはいくら來くても火を與へない、來ても木炭に熱はせない、東京だつて明治、大正その他中學に就學する貧金を拾るにもその部落名を書かす、何の罪もない子供まで

虐げられるからだ、山

陸相は怠慢だと憤る

「陸相は、陛下の軍隊に差別はない、君の内から立派な近衛兵が出てゐないから」といふ必要もない」といつてゐるようだが、實に憤ける話す、各隊では我同志と酒を飲まないし

同盟が

組織されてる、指揮官は我々敗十名を前面に立たせて

「部落の攻撃！」

劍な運動は愈よ廿一日から

軍隊に於ける我々の待遇される事を知らぬとは

陸相は怠慢だと憤る

と叫んだ、準級の時だつて吾々は普通の人より必ず遇れさせられるこのことを大臣が知らないとあつては

怠慢で

なくてなんであらう、吾々はその證據を握つて居る演習があつても吾等の部落には資金を割當てない——大臣が會はぬと云つても吃度會ふ、會つて大に抗議を提出する覺悟だ——普通教育なら、軍隊生活、それを出てから又冷酷な社會は、喇りつばる吾々はさかける、吾々はそうしても

この不平等

社會や

改善せねばなりません」十一日は後藤逓信局長、十二日は水野内相、十三日は鎮田文相を訪ひ、更に加藤首相、岡野法相なを、要路の大臣を訪ふ事になつてゐる。

●鮮魚肉類漬物
青物多少に係らず御用命下されたく候
バウエル街二五三
B C 魚店
電話シー五四四一

高等
南京料理
日本人諸君の御來店を歡迎仕候
バウエル街二三七

新北京
電話シーモア五七七四

同支店
バウエル街二五二
電話シーモア三五一七

煙草卸商
ウエストコースト貿易商會
晩市プレキサンダー街二〇六
電話シーモア一五五七
岸本
自宅電話ハイ一一七〇ワイ

こうじ製造
卸小賣（こうじ）のもとあり
日の出
晩市バウエル街七三三
電話ハイ貳貳六九

バウエル街三六八
サン洋食店
電話シーモア五二三八

大工
竹中佐七
バウエル街二一六九
電話ハイ三〇二八エル

●彩色●青物
●蒲鉾●肉類
食料品一切
バウエル街六貳貳
パウエル魚店
森傳三郎
電話ハイランド三六六九

富士洗濯所
晩市アレキサンダー街六六二
電話ハイ九九

煙草
キャンデー類一切
グロサリー
並にこうと及味噌製造卸小賣
西ダフリン御コロンビア街角
吉田糀屋
電話フェヤモント三三三四アール

寫眞
晩市メーン街二二八
有門寫眞館
電話シーモア一六八五エル
ステプストン市停車場隣り
同支店

●西洋風呂、日本風呂、理髮床の設備あり、浴室淸潔にして御湯の加減は最も寛ろしいとの御好評一度御試し下さい
バウエル街二六一半
壽湯
重山英館

男女洋服仕立並にプレス
各種レンコート販賣
晩市メーン街貳貳貳
相星洋服店
電話シーモア參參七六

和洋雜貨食料品
晩市西第六街一六五八
電話シーモア一六八五
西村初商店
イーバン街郵函五番
西村初支店
電話イーバン四九

洋服洗濯
並にプレス染物
アベニウダイオーク
晩市キーファー街七一一
電話ハイ一六五〇
中塚幸次

各專門醫紹介並に通辯
△代書事務一切
△土地家屋修繕
△其他代理事務一切
バウエル街二四五
電話シー一六五六
濱岸事務所
東ベンダー八三三
（自宅）
（電話）ハイ二三八六アール

葬儀一式
最も殷懃完全にして日本人諸君には特に親切に取扱います
晩市メイン街六一二
エドワード葬儀社
電話シー一三九〇ベビュー六〇八

バウエル街四三九
九州屋旅館
江島順藏
電話ハイ一七八二オー

御旅館
晩市ジャクソン街參貳貳
井上倉次郎
電話ハイ一〇貳參エル

△食料品
晩香坡市メイン街二〇八
〓〓非商店
電話シー（一五五七

運搬業
御用に應じて何時でも
奥津平四郎
メイン街一一九
電話シーモア三〇二〇

●あんま
第六街五一六
松宮惣四郎
電話フェ二五九七エル

新古賣買及金物類
東カドバ街一五七
森山家具店
電話シー三七七二

鳥類卵
一切賣買外に豆腐あめ青物等も有り御注文は遠近に不拘迅速に御届致す
晩市ゴーア街二一六
森高商店
電話シー三七六五エル

マキコール各種
電話ハイランド三一九一エル
東（ステングス街五二三
矢野政八
岡田菓子店内
住宅電話イーバン五貳貳アール

雜貨食料品
晩市バウエル街五六六
梶木商店
電話ハイ貳貳五二

▲鮮魚▲肉類▲漬物
▲野菜物▲上等みそ
▲蒲鉾▲こんにやく
▲こうじ卸小賣
多少に拘はらず御用命下されたく候上候
バウエル街三一五
敷島魚肉店
電話シーモア四四九九

和洋食料品一切
並に運送業
晩市バウエル街一三八
渡邊商店
電話シーモア三九九一

雜貨食料品
晩市東カドバ街一五一
紀伊商會
電話シーモア六八三

●斬傷●鍾物●筋痛●挫骨●ルイレキ●痔●花柳病●痔疾●火傷●打撲●關節の痛●其他外科一切●斷し居らざる限り速に全治すること請合也
晩香坡市カントン街四
廣濟堂
外科專門醫師
林弼臣

御菓子製造
メイン街一八貳
横山菓子店
電話シーモア六九四一

病骨つき、筋違ひ、小供かんの灸
ダンレビー街一一七
鎌倉
電話シーモア三五六九エッキス

灸點按摩按腹

しるこ めし
ぞうに うどん
あべかは。そば
其他色々
晩市ダンレヴィー街一三一
おきな屋
電話シー七八四六アール

廣島屋旅館
アレキサンダー街二三〇
佐藤茂
電話シー一六一七（郵陽二六七）

和洋雜貨食料品
晩市西第六街七五八
小財商店
小財初次郎
電話フェアモント五二

和洋雜貨、絹地、綿布各種
男女お子供衆衣類一切
晩市バウエル街參貳參
堀壽商店
電話シーモア參貳六九

●生魚●青物
●かまぼこ製造卸小賣
●鳥牛肉仕出し
晩市バウエル街二五九
前戸市松
電話シー五九〇〇

玉場床場
ソーフトドリンク
果物煙草類一切
バウエル街一六八
宇都宮藤太郎
住宅東カドバ街七四七
電話ハイ八七六エル

クレセントルームス
晩香坡市バウエル街參貳參
神戸市松
電話シー五九〇〇

●魚類
●肉類
●青物類
●カマボコ
●和洋食料品
バウエル街二六二
田中六彌
電話シーモア五六六一

お祝用其他如何なる菓子にても御用命に相應じ申候間多少に係らず御用仰せ付下されたく願上候
東カドバ街五一三
井頭菓子製造所
電話ハイ三〇五五アール

鍼灸あんま
電氣治療專門
晩市バウエル街三九六ホテルウオールド一〇八號室
電話シーモア一一四三エル
松居

室内淸潔各室共湯水ヒーターの設備あり
バウエル街三一六
サン・ルームス
塚本正人
電話シー八四六九

日本食料品卸小賣
美府ストア街一六二五
清水精米所
電話三三五〇　郵函一二七

石炭販賣多少に不拘電話にて御申下されば早速御屆け致します
玩具
煙草
日用品一切
バウエル街參貳參
製料事務所
磯谷運送社
電話シーモア三五四八

日本米並びに加州米
和洋食料品一切卸賣
晩香坡市アレキサンダー街三六二
伊藤商會
電話シーモア三三七八

●新荷着
●種物●粗●土瓶色々
●日本製汁椀●丸平イワシ●飯茶碗
●千切大根●浮
●其の他色々
有樂近便船にて到着仕り候間多少に拘らず御用命之願上候
東カドバ街一六三
松宮商店食料品部
電話シーモア三五九七

352 Alexander St. Vancouver, B. C.

南京御料理　仕出し
晩香坡市バウエル街三五八
東京酒樓
電話シーモア三九四二、三三六五オー

美しい花の時季となりました
ガーデンに花を御作りになるには
是非ブラウン商會へ
花の御用なら何んでも當商會へ
Brown Bros. & Co., Ltd.
本店
48 Hastings St. E, City
Phones: Sey. 988, 672
支店
635 Granville St. City
Phone Sey. 1391

日本行切符取次
アレキサンダー街三一三
青木旅館
青木米吉
電話シー一一七五

室内淸潔各室共湯水ヒーターの設備あり
晩市バウエル街三一六
サンングルーム
内倉英助
電話シー四八六〇アール

N.Y.K.
日本郵船美港出帆廣告
四月十二日　伊豫丸
五月一日　靜岡丸
五月十二日　横濱丸
六月十六日　加賀丸
一等横濱出二百十弗　神戸出二百二十弗
三等日本各地五十五弗　三食洋食七〇弗
四月三十日　博多丸
一等横濱出　百八十弗　神戸出　百九十弗
晩市出帆
（三等客室改善）
切符取次店
晩市
阿部松之進商會
中山義二事務所
美市
石田、大澤旅館

御旅館
635 Chatham St.
石田旅館
石田元藏
Victoria, B. C.

日本行切符取次
美府ヴィヤム街六三六
郵函一〇六九　電話貳參貳

●鶴龜印白味噌
特約一手販賣
晩市バウエル街三三七
電話シーモア一四一三
蛭崎商店

日本行船切符取次
郵函三八八　電話九六四
大澤旅館
大澤林之助
ヴィクトリア市
フォスガード街八三〇
大澤旅館分館
晩香坡市バウエル街三五五
電話シーモア三六七八ワイ
主任　橋本直次郎

●富士山印蓄音レコード
●コロンビア蓄音機
●シンガーミシン
●乳母車、歩行機
●和洋樂器、子供椅子
●鉛、油
●目錄御一報次第進呈
イーン街貳貳貳
電話シー三六九六
山陽商會

和洋雜貨
化粧品類
絹地綿布各種
男女仕立物一切
バウエル街三三九
電話シー三三九〇
宮崎商店

晩香坡市バウエル街參壹壹
天野運送社
電話シー四二二九住宅ハイ一三八八エル

洋服新調に當つて
品質の上等〜〜
仕立の一流を望まるゝならば
洋服に御用命下さい
洋服店の品物は決して色褪りのせぬことお請合御吹聽いたします
晩市メーン街三三五　電話シーモア二六六四
田鍋洋服店

大陸婦人欄

金爵結婚の幻滅（三）

新派劇めいた見合の幕

天秤は「伯爵夫人」の四字に傾いた

宮内省が頭を悩ました縁組

沖に投げられた一塊の餌！それは、結局山科側では後藤、末正側では山中が直接この縁談を進めることとなつて、折しも同市の資家生萬五兵衛家からも

悅子に對して縁談が申し込まれ

たが「伯爵夫人」といふことが最終の決定となつて、天秤は山科家に傾かざるを得なかつた、當時はてる子夫人も餘程苦心を拂めたと見ねて唯一の味方である山中に愛こんなことを云つた

「山中さん、あなたはんとに私の親身となつて悅子を山科へやることがいゝかわるいか冷靜に考へて下さいな」

この時山中の心事は判でゐしたやうにもまつて居た

「勿論此縁談は現代の思想觀念から云つたら因襲結婚とか不自然だとか理屈は何とでもつけられますが只山科家の物質缺乏問題を除けば是れ位理想的なものはありません、幸に結婚が成立したら山科家も之によつて復活し末正家も更に立派な家柄となつて錦上花を添るものです、所謂有無相通じて茲に名家同士が提携せらるゝのは社會政策の上から見ても其に意義あることです」

媒介人の自己承認によつて立派な社會政策的（？）意味を加味したこの縁談は萬障を排して進行した

× × ×

後藤と山中の斡旋で兩家の當事者が會見することゝなつたのは九月廿一日舞子萬福樓で山科伯と末正夫婦と後藤と山中の五名、十月四日京都南禪寺の瓢亭で顏ぶれは前回同樣、さてまた話しが進んで十月十六日見合となつた

場所——舞子萬福樓

登場人物——山科子爵、夫人やす子、令息家言、富豪末正繁太郎、夫人てる子、令嬢悅子、執事後藤武夫、仲介人山中庸次郎（以上八名）

秋の澄明な空氣にうんだ淡路島を背景に、舞子兩側は松の切り山し、登場人物のそれもこれもけはゝ〜しい

衣裳くらべと空疎な世辭の交換

輝渡な新派劇の一幕、これが男女一生の運命を簡に片づけてゆく人間生活の血の出るやうな一角なのだからたまらない、話はぞんぞん進んで十月廿八日末正家では後藤に六千八百四十圓を手渡したのを最初にその後數回に山科伯直接かいづれかに渡つ〜條件的一の債務の整理に着手してゐたが末正家でもなか〜要領固に山科家とその令息の進の手形で表面は債權關係の方法をとつて萬一へてゐた、此金額四萬九千圓、山科家繁齋に約一萬圓、これだけは確に山科伯の手に渡つた華族の縁談は必ず勅裁を仰ぐべきものなので

同年十一月廿日山科伯から

から宮内省宗秩寮に出願した、宮内省でもこの縁談には大分頭をなやましたらしかつたが結局山科伯の親族若王寺文麿男、杉谷言長男に相談し責任を分擔して貰ふことを條件に大正九年一月十五日附を以て宮内大臣から勅許の御沙汰に接した、さうして儀式的な表面の媒介人を親族の醍醐伯をわづらはし、二月廿四日山科家かち兵庫の末正家への結納々入式は無事終了した、この調達費三千圓は云はずとも全部末正家から出たのである

（つゞく）

投稿歡迎

原稿は成可く解り易く書いて下さい

大陸日報　婦人欄係

點字小說　荒野の花

＝寶藏ゆり子さんが作る

東京築地林病院のマッサージ科主任の寶藏武彌氏夫人ゆり子（廿一）さんは去君をはじめ長女久美子（八つ）さん二女美知子（四つ）さんと府下雜司ケ谷祖原五一に樂しい家庭を作り而も盲人の身でありながらそのわづらはしい中から東京女子大學英文科に通學してゐるが先頃世界盲人教育の

閉祖下

ある佛國人ブランタンの生涯を題材として「荒れ野の花」と題する點字小說を脫稿した、それを或友人が普通の文字にして見たところ原稿紙にして五六十枚あり本月號某婦人雜誌に掲載されるとのことである、ゆり子さんにかはつて夫君の武彌氏は語る「ブランタンは盲人ではありませんが盲人に深い同情をもつてゐた人道主義者でした當時（十九世紀）盲人教育が實行されてゐませんでしたので

盲人は

大低物もらひでした、彼はそれ等の物もらひをあつめ點字を作つて教込ました、これが世界に於ける盲人教育の始めであつたが、今年はブランタンの誕生百年に當り日本でも四月に盲人教育令を發布するといふ記念すべき年ですから夫に刺戟されて書いたのです」

家庭で顧みられぬ乳兒の教育

◇實に由々しき現下の社會問題

久保田詢

乘合になつて流水の情を見せた

だがさすがに之等の條件の纏め婚することが自分たちの良心に對して淋しいことが出來なかつたそこで此の縁談の關係者は末正家から結納を取成立するまで秘密を嚴守することが出來なかつた、さうして仲人でもは大正八年七月十一日の二回に後藤宅で山科家から縁談成立後の謝礼金として拾萬金の一割を貰ふ口約が結ばれた、とかくするうちに酒井は口がるく本音を吐いてしまつたので末正家から出入り禁止めとなり、神戸成長傳は後悔が末正家の耳に入つてこれもふるひ落さ

永年歐洲の風俗習慣になれ親しんだ私は、繁雜極まる日本の社會制度や、俗生的設備の皆無、或ひは公衆道德の觀念に乏しい事、すべて目に觸るゝ事物に太息を漏らしたが、一向顧みやうともしない、そして其の結果は眞に恐るべきものがあるのであるが、まづ第一の急務は子守の改良といふことである。いふまでもなく優良なる第二の國民を成育せしむる上に於いて此の子守が如何に重要な地位をしむるかは、少しく心ある人ならば誰も氣づくことであらう、從つてかの

◇教育觀念に富む歐米の家庭

では殆ど大低苦女卒業生の、而も成績のよいものを子守として要望してゐる、そして其の子守はあちらでは多く人工養によつて乳兒を育てるのであるから、乳兒に必要な量だけの牛乳をたつさへて乳兒を伴ひ公園等を遊逸する。そして其の廣い〜公園内には幾多の教育的參考品や、高尚な玩具、或ひは理想的な遊戲場等が設備されて自由に利用出來る制度になつて居るので、二歳のうちから既に幼兒は前記の教養ある子守の手によつてかゝる場所で樣々な知識をさづけられるのである。故に四五歳にもなると早くも偉人の碑等に就いて相當の理解を有し、かつ教訓を幼心に植つけられるのであるから

◇幼兒と雖も道德觀念に富める

事は驚くべきばかりで、一例を擧げると毎年春早く公園に牧草の種をまく、それが一二箇月すると一二寸延びて丁度毛氈のやうな美しい芝生になり、おとなでも一寸入つて寢ころんで見たいやうになる。無論柵等も形式的の物で、四五寸ぐらゐの棒が所々に挿してあるくらゐに過ぎない、而も此の中へ入るべからずとか此の花を折るべからずといふ樣な日本流の立て札などはどこをさがしたつてない。それにも拘はらず誰一人として足を入れるものがない、即ちをるべきものでない、入るべきところでないと云ふ觀念が

◇嬰兒時代から教育されてゐる

のである、之を我國の乳兒教育に比較すると、全く雲泥の相異で談望に堪へぬ次第である、然して現在の日本では十五六歳の小娘か裏たしきは背負たらしの低能兒を大切なる我子の遊び相手に罹つてあるのであつて、その無自覺極まることは實に言語同斷とも云ひたい、尤もごく少數の知識階級には例外もあるが、かゝる事實を常に目擊してゐる私は、實に一種の戰慄さへ禁じ得ないのである。云はゞ子もりと云ふものを泣く子を其の背に

◇括りつけて外へ追出す機械

か何かのやうに心得て居るのである、而して此の子もりの哺育に依つてあらゆるよからぬ事を充分に練習してから、小學校へ入ることになるのであるから、其の矯正にも一方ならぬ困難をともなふといふことは教育者側の聲である。然しながら各家庭に於いて乳幼兒を今も云ふ通りの理想的に育てるといふことは、我國の物質生活上到底許されぬ事でもあるから、斯る階級の爲めに社會政策上から、是非共乳兒教育所の設立を希望してやまないのである。

パウエル街二四六
河邊齒科醫院
電話シー一三六三七
自宅バイランド一五〇九エル

パウエル街二一〇
下高原醫院内
影山齒科醫院
電話シーモア二五五五

公認
三宅齒科醫院
ドクトル　三宅榮藏
晩市東カドバ街四一六
電話　バイ　二二四八

晩市パウエル街二四五
葛原齒科醫院
電話シーモア三四五〇
自宅バイ一〇〇五エル

東カドバ街四三八
醫師　石原明之助
電話バイランド一一一

診察時間
午前十時より十二時まで
午後二時より六時迄
日曜休日は二時より一時迄
パウエル街元ティーブルー二三
醫學士　高橋康吉
電話オフィス、シー五三二〇
自宅チャールス街一八七〇
電話バイ八九九エッキス

法律事務一切
特に日本人の爲に便宜を計ります
晩市メインン街ロヤル銀行二階
辯護士
シー・ステワート
電話シー七一住宅ベービュ八

Phone Sey. 6870　Phone Sey. 6870
Pacific Wire and Supply Co.
V. H. Ross Mgr.
161 Alexander-St.　Vancouver, B. C.
バシフイツク
ワイヤサプライ
卸品目
ワイヤータイイング
ミシン
コイルドワイヤー
ワイヤ
干鰯鮭
ペレンパッキング用
ステープルス
ネール類等
他ワイヤータイイングに關し何でも御相談に應じます
元マクブライドウエル商會で營業して居ましたが此度名義を變更しましたマクブライドウエルも從前通り關係して居ます
電話シー六八七〇

指物、玩具、家具
製造勉强
仕入品浮山有之妥價に販賣仕り候
間御用命願上候
晩市パウエル街七三三
川出
電話バイ　貳貳六九

不思議な程安い
澁谷の春季大賣出し
此の好機を逸せず春着の新調を——
御見逃し遊ばすな廉賣は（木曜、金曜、土曜の三日間）
△特價中の特價子供靴下（白、黑、茶）二十五仙ペヤ　賣價　二、七五仙　二、九五仙より八弗迄
△特價　九弗九十五仙（十枚限り）　二割引　七十九仙（二打限り）　2ペヤ八十五仙（五打限り）
御婦人用スポートコート（色各種）　五五仙　九五仙
パツト　六十八仙（三打限り）
エプン（掃除用）　三十五仙　五十仙
ブルーマー（白、ピンク）　一、二五仙　九十八仙
同（白、ピンク）　三、三五　一弗七十五仙
アンダスカート　十九仙ペヤ
アンダシヤツ（半袖及袖無し）　九十八仙ペヤ
アンダシヤツ（同）　一弗五十九仙ペヤ
コーセツト（白）　七十五仙　五十八仙（五打限り）
コーセツト（白、ピンク）
ゴムコーセツト（白、ピンク）　八〇仙
木綿靴下（白、黑）　一、五〇仙　六十三仙
人造絹靴下（白、黑、ボロ）　一弗十仙
絹靴下（白、黑、茶、鼠、ツホン）　三、一五仙　九十八仙（二打限り）
ガス地靴下（白、黑、茶）　二弗　一弗七十五仙
ボーイキヤツプ　一、四五仙より一、六五仙　一弗十仙
同　六十五仙
ガールハツト（ピンク、ブルー、形付）
ボーイパンツ
子供ドレス（ヤンガム地及チヂミ地）二才より十二才迄
ボーイロンパー（サツサ地）二才より六才迄
△特價中の特價チヂミ（オールカラーズ）　四十五仙　三疋　九十五仙
ラバパンツ（ベビー用）　五十四吋　二弗十仙ヤード
ラビニー（茶、鼠、白、ピンク、ブルー、黑）　一弗九十五仙ヤード　一弗六十八仙ヤード
ギンガム（廿七吋）　三十二仙ヤード　一弗四十八仙　四ヤード一弗
△き　れ　地　四ヤード　九十五仙
ホームスパン（スカート及ドレス地）
きれ地は特に弊店が東部に於ける一大製造元と特約いたし色合、柄等は他に多く類を見る事の出來ない本年流行の粹を覓めたるものです
一ヤードより四ヤードまでの有切地は
驚くべき價格でバーゲンテーブルに皆さんの御來觀をお待ちして居ります
晩市パウエル街三七八
澁谷商店
電話シーモア六三六二

英國王の聖廳訪問

英國議會の問題となる

【倫敦九日】ヤング・ヂョーヂ陛下は來年中にメリー陛下と御同道にて羅馬法王を御訪問あるべしとの件に就て教徒間に異論あり議會の注意を惹くに至りたるがインヴァネス選出の代議士サー・マドック・マクダナルドは事件は兩陛下の判斷に委せらるべき事柄なりと不日下院にて主張せり、而して又

「吾人は陛下が加特力教徒數百万人をも其臣民中に有せらるゝことを忘る可らず、若し陛下にして法王御訪問を可と認せらるゝならば之に異議を申し立つるが如きは非禮なり」

と述べ同時に氏は「予は英國政府がヴァチカンに外交使臣を有せざる可らずとの必要を見出すことは能はず」と云へり

ヨランダ殿下慶典

【羅馬九日】エマヌエル陛下の長女プリンセス・ヨランダ殿下には本日カルヴィ・デ・ベルゴ伯と結婚の儀典を擧げられたり、儀式の一にはムソリニ首相クラークとして有名なるコルニヤル宮殿にて擧行あり他は宗教的儀式にしてバオリナ寺院にて執行あり何れも盛大なりき、伯爵との結婚に依つてヨランダ殿下には王族としての位階を棄てさせられたるが國人の敬愛を受けさせられしことは異常にして殊にフアシスチの歡喜は大なりき、彼等は殿下が外國の王室よりの求婚に應ぜずして伊太利人を選ばれし事は伊太利の國家主義の最終の勝利なりとせり、伯爵は殿下より十四歳の年長にして殿下は二十一歳なり、殿下は騎手として有名にして父其のサヴォイ式の黑髮の美は天下に鳴れり、伯爵は伊太利陸軍中の名騎手の一人にしてミッツア騎兵隊の大尉たり、國王は羅馬の貧民に十萬リラを分ち給ひ又ロランダ姫への贈呈品は數百件に達し伊太利作曲家の多數は行進曲を作曲して獻上したり、ナポリの都市は盛祝の爲に飛行機を繰出して花火を空中に投じ都の空を飛翔し花と祝文とを撒布したり、閣員はロランダ姫に七具より成る銀製のタブレット・セットを贈上し又或る珊瑚商は貴重の日本珊瑚より成る頸飾三筋を獻上せり、三つとも其色を異にせり

汎米會議軍縮提案

【サンチヤゴ九日】汎亞米利加會議の米國全權の一人なるロー博士は汎亞米利加聯合は商業及び教育方面の問題のみを取扱ひ來れるが今回その權能を擴張して軍備問題をも取扱はしむべきの決議案を提出せり、米國全權は汎亞米利加無線電信及び電話會議を華府に開催すべきの案を提出せん

△太平洋商船規定

習利全權は兩米大陸列國の太平洋航行商船規定、商業用飛行機取締規定を設くべきの決議案を汎亞米利加會議に提出せり

【華府九日】ハーディング大統領は西部諸州及びアラスカへの旅行に六月十一日又は十二日の頃出發すべしとの事なり、六月九日に當地にて閉會さるゝナショナル・シュライン大會後直に出發する譯なり

墨國との借款協定有効

【華府九日】モルガン商會の代表者にて昨年六月紐育にて墨西哥對列强銀行團借款協定を結びたるラモント氏の報告に依れば該借款協定は墨西哥政府が去る一月一日支拂ふべきなりし外債利子一千五百万弗の支拂を來る四月一日に延期せるに滅意有無の問題にあらずして財政の都合に依るものにて墨西哥の財政は漸次好況に向ひつゝあるが故に借款協定の前途を樂觀するに及ばずと

相對性原理と日蝕觀測

【トロント九日】昨年九月二十一日濠洲にて觀測せる日蝕寫眞は「インシュタインの相對性原理に有利の結果を示せりとトロント大學のチャント教授は云へり、的確に然りとは云ふを得ざれども計算の結果はアインシュタインの原理に明かに有利のものありたりと教授は言明したり

米大統領の出發期

【華府九日】ハーディング大統領は西部諸州及びアラスカへの旅行に六月十一日又は十二日の頃出發すべしとの事なり、六月九日に當地にて閉會さるゝナショナル・シュライン大會後直に出發する譯なり

一億圓の日露關係の會社

政府の出資を求むべく運動

日本の經濟的發展は將來亞米利加方面よりも寧ろ無限の資源ある支那、西伯利方面に幾多の可能性ある事は朝野の一般に認ひる所であるが近來日露の經濟的關係疎遠なるに乘じて米國なるは早くも西伯利の富源に眼をつけ漸次經濟的侵略を現して來てゐるにも拘らず敢も近隣にある日本は未だ殆んど見るべき計畫がないのである。然るに資金の乏しき西伯利方面と通商をするには先方に相當の信用を許して極則の延取引とするか乃至は先方の富源を開發して其れから得た生産品を我輸出品の代償とせしめる必要があるのだが何れにしても巨額の資本金を要つて初めて完全に遂行し得べき性質のものであるだけに此點に於て缺除せる現狀の下で行けば日露の經濟的接近は實質的に進捗の可能性少く徒らに他國をして乘せしめる恐れがある、即ち右の如き見解の下に最近日露實業會社の田邊熊二氏初め三三の關西財界有力者は日露漁業其他既存の日露關係會社を併合し更に增資して資本金を一億圓とする一大會社を創設せんとする計畫を樹て政府にも二三千万圓の出資を爲さしめんとする運動を始めた。而して其の營業の內容は併合される現在の諸會社の事業を其儘繼續發展を圖るばかりでなく更に西伯利に於ける森林の伐採、石油、金鑛の採掘、製鐵通商等であつて是に據つて日露關係を眞に經濟的に接近せしめる事を期するものである

晴天の霹靂

加州檢事總長より異議申立

加州レーズン會社の新株に日本人が應募するは土地法違反

◇會社側は急に調査開始

レーズン會社の新株募集、新契約を受けざる次第なれば日本人耕作者間には實際上拘束を受くるもの少くも然らざる一般日本人の應募は之がために一頓挫を來すものといふべし、フレスノ郡選出州上院議員にしてレーズン會社顧問辯護士たるエム・ピー・ハリス氏は櫻府よりメリット市役に電話を以て加州土地法には何等日本人の株式應募を不法なりとするものなしと思考せらるゝ、尙はウエッブ檢事總長と會見の上詳細なる報告をなすべしと申し來れり、メリット氏は以上の報告に接し急遽會社の

◇顧問辯護士を招集し事件を報告せるが氏は

「予は法律に門外漢なれど土地賣買を目的とする會社の株式取得とは趣を異にするが故に之を適用する能はざるべし」

との意見を述べたり、尙顧問辯護士の一人なるイーブセン氏は次の如き意見を述べたり

三百人乃至二百人の日本人耕作者は萬一法律上の權利なしとするも會社の株式に應募して會社の財政を援助する道德的權利を有すること勿論なり

レーズン會社の新株募集、新契約を受けざる次第なれば日本人耕作者間には實際上拘束を受くるもの少くも然らざる一般日本人の應募は之がために一頓挫を來すものといふべし、フレスノ郡選出州上院議員にしてレーズン會社顧問辯護士たるエム・ピー・ハリス氏は櫻府よりメリット市役に電話を以て加州土地法には何等日本人の株式應募を不法なりとするものなしと思考せらるゝ、尙はウエッブ檢事總長と會見の上詳細なる報告をなすべし

と申し來れり、メリット氏は以上の報告に接し急遽會社の

◇顧問辯護士を招集し事件を報告せるが氏は

「予は法律に門外漢なれど土地賣買を目的とする會社の株式取得とは趣を異にするが故に之を適用する能はざるべし」

との意見を述べたり、尙顧問辯護士の一人なるイーブセン氏は次の如き意見を述べたり

三百人乃至二百人の日本人耕作者は萬一法律上の權利なしとするも會社の株式に應募して會社の財政を援助する道德的權利を有すること勿論なり

◇小規模　だが學術研究と實地診療とを兼ねる施設としては日本最初の且つ唯一のものであるから、新研究所の工事はこの晩春初夏の交から着手する筈だから約二ケ年間の工程を經て大正十四年春頃には開所の見込であるが其の同研究所長の椅子に着くべき人は目下のところ未だ決定せざるも有力なる候補者の一人たるエム・ピー・ハリス氏は語つた「何分現在の大學精神病科は十三名しか收容出來ないほど手狹で學生の研究も十分に行渡らないため二年前から擬案してあつた成べく大學構內に設けたかつたが餘地がないので醫學部の分身として巢鴨に決定した、從つて新研究所では講座も開き一般患者をも收容するから廣く社會の施設としても同病者に多少の幸を齎す譯だ、殊に近來のやうに學術人智の發達、人心の變動は患者

◇激增の　所以だが之は寧ろ多くなつて現れたといふべきで今まで既に罹つてゐて世人に氣付かれなかつたので歐米では千

精神病者は殖える一方

そこで研究所新設

……六十萬圓を投じて巢鴨に二百名を容れる病室を出來る

帝大醫學部の分身

財界の不況續きや只さへ氣のボウとする花見時を控へた昨今、精神病が急に殖えて東京市內一の府立松澤病院は滿員の盛況だが、此精神病激增の傾向は單に昨今といはず近年の深憂すべき徵候なので、嘗て帝大の臭秀三博士等が建議してゐた精神病研究所新設の件が今

臺灣總督田健次郎氏の近影（大陸寫眞）

回漸く實現することゝなつた、其の總豫算は六十萬圓、場所は、巢鴨庚申塚の敷地六千坪に二階建の研究所、平家の附屬病院を設け、其總建坪は約二千坪で、二百名の外來患者を收容し得る豫定である松澤病院の八百名に比しては

◇小規模　だが學術研究と實地診療とを兼ねる施設としては日本最初の且つ唯一のものであるから、新研究所の工事はこの晩春初夏の交から着手する筈だから約二ケ年間の工程を經て大正十四年春頃には開所の見込であるが其の同研究所長の椅子に着くべき人は目下のところ未だ決定せざるも有力なる候補者の一人たるエム・ピー・ハリス氏は語つた「何分現在の大學精神病科は十三名しか收容出來ないほど手狹で學生の研究も十分に行渡らないため二年前から擬案してあつた成べく大學構內に設けたかつたが餘地がないので醫學部の分身として巢鴨に決定した、從つて新研究所では講座も開き一般患者をも收容するから廣く社會の施設としても同病者に多少の幸を齎す譯だ、殊に近來のやうに學術人智の發達、人心の變動は患者

殺すればそれで宜い筈と思ふ。彼等が「特殊部落の改善を謳れ」なと主張するは彼等自ら特殊を認むるかの如く聽かれて我等感服せず殊に其運動の往々過激に流れ惨忍性を加へんとする如き傾向あるは我等の嘆惜を禁ぜざる處である、翌に京都に於て本願寺との間に起した事件や最近奈良に於て國粹會と對峙して戰爭でもあるやうな不穩の行動に出でゝゐることは、何れも水平社ばかりが悪い譯でなく當でない、穩當でない、ならぬ、況や同胞に於ては無論いかにしても穩當でない、穩當でないならぬ、我等は勞働者のために之れを言ひ、資本家のためにも之を念ふ、世の中を敢方が透觀して善處すれば問題は起らぬ筈である。

北の季節が近づいた、滿都の子女が浮かれ歩く時が近づいた、併も世の中は段々とセチ辛くなつて行く、失業者の續出はいよ〳〵之れからである、來る二十六日東京砲兵工廠で二千幾百人が解雇するといふことである、失業者の救濟要求と、失業者を恐るゝものの防止運動が日々此所彼所に行はれてゐる、悲痛なる彼等の叫びは我等も同感である、然りながら、國家——民族の綜合的利害の打算から冷靜に愚慮ある判斷を下すことが必要である、理論に走つてはならぬ、況や惡宣傳に迷はされてはならぬ、我等は勞働者のためにこれを言ひ、資本家のためにも之を念ふ、世の中を敢方が透觀して善處すれば問題は起らぬ筈である。

東京特信（三月十九日）

在東京　櫻波生

東京便り

東宮殿下には來月上旬蒙古を御巡察あらせらるゝことに御治定あらせられた、攝政殿の御大任を帶びさせられ、諸政務御繁多の上に御治を念せられ民を思はせらるゝ誠に畏れ多いことであるが、新附の民も嘸かし新たなる感激に泣いて至誠を奮ふであらう、爲政の局にあるもの亦彼らく感奮して苟も其治を過らぬやうに一層努力すべきであらう

妙な關係から議會中は開かれぬやうになつてゐた樞府會議も、四月一日から施行の法令關係から開かねばならぬ事情もあるので、議會閉會の翌日即ち二十八日二ケ月振りに開會すと云ふ、當日加藤首相は例の日支郵便協定問題に就き果して何と釋明するであらうか、之れに關聯して政界に幾多の噂中飛躍が行はれるかも知れず、少くも種々の官傳や噂の生ずるは必定である、總辭職說、一部改造說、早くもあるが大體の政情は襲に通信した通りであるから改めて記さない

水平社の運動は大分大仕掛に行はれて來た、世界に人種平等を叫ぶ今日、我國民は素より如何なる人種に對しても平等主義であらねばならぬ、況や同胞に於ては無論である、而も特殊部落なるものゝ名が未だにあることは奚ぞ不思議である、我等は平民であつて士族を見、華族を見る如くに彼等を見る、即ち特殊部落なる文字を總ての印刷物、演說などから抹殺すれば、それで宜い筈と思ふ。彼等が「特殊部落の改善を謳れ」なと主張するは彼等自ら特殊を認むるかの如く聽かれて我等感服せず殊に其運動の往々過激に流れ惨忍性を加へんとする如き傾向あるは我等の嘆惜を禁ぜざる處である、翌に京都に於て本願寺との間に起した事件や最近奈良に於て國粹會と對峙して戰爭でもあるやうな不穩の行動に出でゝゐることは、何れも水平社ばかりが悪い譯でなく當でない、穩當でない、ならぬ、況や同胞に於ては無論いかにしても穩當でない、穩當でないならぬ、我等は勞働者のためにこれを言ひ、資本家のためにも之を念ふ、世の中を敢方が透觀して善處すれば問題は起らぬ筈である。

齋田理學療院
最新の學理を應用したる理學的療法（溫熱療法及西洋療法）を以て胃腸病、子宮病、神經病、肺病、リウマチス等の治療に應じます
診療時間　平日午後三時より十時迄　日曜日午前九時より十時迄
日本鍼灸醫學校卒業
齋田榮
上西旅館七號室

鮑新荷着
日本新米
加州新米
澤庵

BANK OF MONTREAL
Cor Main and Cordova St.
Vancouver, B. C.
預金額　四億九千万弗
總資產　六億　万弗
◇貯蓄預金◇當座預金◇公債賣買
當銀行に於ては特に日本人との取引を歡迎する爲日本人部を設け日本人諸君に對し充分便宜を計り如何なる取引にても應じます
モントリオル銀行　設立後百年以上
日本送金
何れの地方へでも確實迅速に御取扱致します

各種代理業
◇日本行各汽船切符販賣
●妻子、傭人、定着農夫等一切の呼寄願、再渡航證明
●出生、死亡、婚姻、離婚、養子縁組等其他戸籍一切
●當國政府へ出生屆、歸化申請其他各種代書及通譯
晩香坡市パウエル街二三五
日本郵船　大阪商船　代理人　切符販賣
中山義一事務所
電話　シーモア七六五二　自宅バイ二三〇七ブール

自動車を
塗り替へて早くて丁寧で上手なる、方は安く
セフテ・グラージ
のダブルユー・バンナーに御下命下さい
電話シーモア八九一五

自動車修繕
ギヤスリン及オイル
附屬品並にタイヤ販賣
自動車保管安全
救助車の御用命に應じます
晩市パウエル街二〇九
セフテーグラージ
電話シーモア八九一五

晩市パウエル街二三九
衣類一切　松宮雜貨店
電話　シーモア四一九一

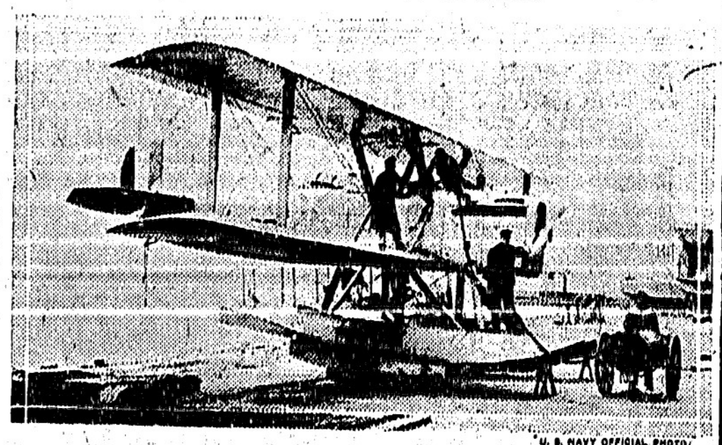
御藥と大正堂
大人にも小供にも最も適性で傳染しやすい
流行性感冒、ヂフテリヤ、百日咳、肺炎、猖紅熱
がはやつて居ります御用心遊ばしませ
◆ホシ小兒專門藥各種
◆高貴藥調劑風藥
新輸入　朝鮮人參　藥用葡萄酒各種
晩市パウエル街三〇一
藥化粧品卸小賣
東洋雜貨卸賣
大正堂
電話　シーモア三三八

Phone Sey. 338　TAISHODO
301 Powell St.　Vancouver, B. C.
ステブストン
晩香坡間
荷物運搬
ステブストン停車場前　電話二
みかどトランスファー

【卓上閑話】

原敬氏の死後に、遺子夫人がそれ〴〵家政の整理をしかゝつてゐたが、それも半にして夫人もこゝなつたが、いろ〳〵調べて見ると原氏がその都度御下賜金などをその儀交所に收めておいたと見て水引のまゝ發見されたのもあつたさうだ、又他人に貸た金も其儘形ばかりの證文も數十通出た、夫人は原氏の生前にこの事を知らなかつたさうだ、それらは背廣引にしたとの話だ◇二木博士は醫學上から一食主義を奉じてゐるので評判だが、日蓮主義の本田仙太郎氏は、信仰の上から一食主義をやつてゐる、氏は五十歳にして「吾々青年は」といふ口癖だけ聞斷なき足まめから朝から晩まで飛び廻るので、たゞキャラメル三個を歩きながら食つて一日を過ごすといふのだ、二木博士が朝に食ふのに引替へ、本田氏は深夜に一食を取るといふのだ、そして「この健康も日蓮大聖人の賜物です」と五十年の青年すゞ感激の涙を浮べる所は可愛い◇この頃育に評判になつた日本人のテノル聲樂家藤原よしといふ名が、女らしいので誤り傳へられて來たが、倫敦で知られた本名戸山英次郎君のことだ——

大陸畫報



U. S. NAVY OFFICIAL PHOTO

米國海軍航空隊の演習に習熟し加藤式を効果的に利用して力と決つたスイヴデ・ダウグラス式ビルト式後射の飛行機

非のれさ驗試

日本の經濟界は益々窮して來る一方

政府の物價調節も失敗

東洋汽船株式會社々員　前川健藏氏談

明治の昔、ヤッチ株式會社々員前川健三氏は昨日エムプレス號にて來滬したるが、日本に於ける經濟界について左の如く語つた『日本の經濟界は益々窮して來る一方です、政府の物價調節が一向行はれず、從つて物價は下落せず、こんな狀態が もう二三年も續かうものなら戰時中に得た金は外國へ吐き出さねばならうと

◇一般から心配されて居る、内閣が政友系である以上物價調節も期待出來ますまい、が加藤内閣も今年の九月か十二月には變るならうと云はれ、加藤首相、後藤外相氏等が後藤内閣の中心になつて居るやうに傳へられてはゐるが情實族連の新党會邊りから出るかも知れないと云ふのが有力な說らしい。問題になつて居るのは日露の通商問題で、後藤さんとロツフェの會見が可なりやかましいが、内閣の間では日露の通商に關して何とか決定を見なくては明年になつたなないと云ふ樣な所迄行つてゐるらしい、で此れがうまくいつて日露の通商が明始されるとなれば、多少現在の苦しい經濟界を救ふことが出來ないとは云ふ樣なものゝ、それも單に國だけの商賣だけで生産關係の窮狀は眼外の會社の窮狀は眼も當られない

更に氏は思想問題に話題を移し「經濟界が斯の如き狀態であるから自然思想界にも非常な影響を及ぼし、ます／／

◇惡化の傾向がある樣です」と次いでヤッチの問題に移り「スウエーデンのヤッチがダンピングを始めてから／／東洋の方へ入つて來るといふ有樣で、自分の今度渡來の用件は販路を何うにかしなくてはならないと云ふにある第一の販路は支那である、が其の支那が近頃日本の安金ヤッチを用ひなくなり、、或ひは逆に支那から輸入されはしないかと云ふ

◇現狀にある、たゞ此れ等に對抗するのには資本の合同が一つあるのみです、之に依つて進むより外に道はないでせう、日本で一番悪氣のいゝのは鐵鋼で、あれは充分な何割かの配當を續けて行くでせう」又材木に關して日本では近頃都市計畫と云ふのを本つて居るので、どん／／家を壞して居るのであるからその方面からだけでも材木の需要は大したものでせう、米國の材木業者がこうした日本を觀て日本はまだ材木が必要であると云つたが、事實都市計畫の爲めに破壞され、新築される家は大へんなものです

と語り、茂木惣兵衛及び三菱よりした

破産の痛手を負ふて 經濟學研究に倫敦へ

私は語る資格のないもの

茂木惣兵衛氏昨日來晩

世界到る處に支店を有し、日本に於ける大貿易商として知られてゐた茂木商店も、戰後に於ける急激なる經濟的打擊をうけて遂に破産の憂目に逢ひたる事は未だ世人の耳に新たなる所なるが、その主人公茂木惣兵衛氏は昨日當市入港のエムプレス・オヴ・エシア號にて、ロンドンへの途來晩した、ホテル・ヴァンクーヴァーに泊へは

今晩すぐにロンドンの方へ向けて出發するのでゆつくりこちらの情況をおきゝ出來ないのは殘念です、私はもうすつかりビズネスからは遠ざかつて今は隱居して居るのですから、何もお話しする事も御座いません、ロンドンでは何を勉强するかわかりませんが兎に角勉强する心算です何年位英國に滯在するかそれも像定が御座いませんし、今後何うさ云ふ樣にして暮すかと云ふ事にも考へ及んで居りません、何れ日本へ歸る日が來るでせう、若しこちらを通る樣な事でも御座いましたなら、その時におきき下さい、今度だけは一つお許しを願ひます

と何事も語らなかつた、が同船して來晩した神戸東洋ヤッチの前川氏の談によれば氏は主として經濟學の研究にあるとの事であつた

◉昨夜の鮭卷網業者會

鮭卷網業者の大會は昨夜七時より佐藤茂平氏方に開催、出席者三十餘名、時局問題について種々協議し愈運動を起す事に決し、第一歩としてオタワに在る驛へレン組合業者の辯護士であつたシビリエー氏を雇ひ入れる事となり委員と

◇現狀に

となり直にその半額を支出するに決して散會した

◉日光節約と市民投票

當市會は日光節約問題に就て昨日討議したが結局向ふ六週間内に道路改修問題と同時にこれを有權市民の投票に依つて決すること、爲し

傍聽記（七）

全日系漁業者を驅逐して貰ひたいと

某鮭卷業者が打電す

陳情委員　安野仲太郎

鮭卷業者は損害を蒙る可きものとは思はれぬ、從來の統計に據れば、少數の漁者にて比較的多額の漁獲を水揚げしたる事は珍らしからず、故にビー・シー州に於ても漁業に從事する人々はその漁獲の期日に至るまで箱樣何、鮭は樣何を要するか豫測出來るものにあらず、日本人のライセンスを制限したるが爲めに損害を蒙りたりと云ふの外何等の理由あるに非ず、映畫は何グッフ——本年は損害額を數千弗と限定したる事を喜ぶものである、クラーク議員はこの損害額を數千弗と申上せしが、何れにしてもこの時迄に鮭卷業者は已にアドヴァンスを拵出したる者なるやを疑ふ餘地はない、實に不思議である、勿論鮭卷業者はその事實については材料を買入れたる事は事實ならんが、日本人のライセンスを一割より四割に制限せしめにビー・シー州人も免れる可からざる如く今回の漁業省の誤謬は他の官省よりは甚だしかりしかも知れぬ、が然し此の如き事を理由として全院委員會を持に變更して通常議會を開く必要を見出す能はず、もしその必要あれば漁業省に關する豫算案の討議せらるゝ迄待つ可きである、本員は本議會に於ける他の議員の誰よりも多く此假報告につき、又は本報告に關して種々の通信に接したる者なるが、敢て漁者のみならず漁業に關係なき市民よりも四割削減について、その正當なる事を申し來られし中にも、最も著名なる鮭卷業者より電報にて申し來りたる事を思ひ出したるが同ミーエン（保守黨首領）——その電報は誰から來たものなるやダッフ——議員が要求するならばその名を擧げるが恐らくこの電報の發信者はその名を擧げられる事を好まぬであらう、これと同一の電報は漁業大臣にも來て居る筈である

と電報は大臣にも送附したり、その電文は

「吾人の漁業省に望む所は日本人を全部セイン漁業より驅逐せん事を望む、四割削減位の如きは後し種々の面倒を惹き起すのみ、今や日本人に代へる可き白人及びインディアンは頗る多し、本社は未だ嘗てヘレン又は鮭のセインに日本人を使用したる事なし」

◉支那人移民案討議の延期

當市の白人小資商組合が傾聽會の支那人移民案に就て頗に注目し居ること既記の通りであるが昨日の月次例會にも州組合長クラウダー氏の說明があり「マーチャント」の意義の確定を要望し他の代表的團體との協議交渉をも爲したいと

あつて結局サクワに向け一時同案討議の延期を申請することに決定

ロンドンへ留學する戸田庄一郎の氏と共に昨夜入時半の汽車にて東部へ向け出發した

本社東京特電

▲漸次御快方　鳩彦王殿下とは漸次御快方にあゝ房子殿下に御回復の際跛足とならるべしとの事なり

▲山下氏逝死　住友の山下芳太郎氏は麗屋の邸宅にて逝去したり

▲船會社合同說　東洋汽船と國際汽船との兩會社合同すべしとの說あり

▲攝政宮行啓期　成久王薨去の結果御發程延期ありたる攝政宮殿下には十二日愈御出發、臺灣に向はせらるべし

▲岩下の收監　岩下清周は病氣癒えて愈終身懲役に收監されたり

▲未亡人逝去　岩崎彌太郎氏未亡人逝去せり

▲獨身者團結　東京勞働組合の獨身者達は現在の結婚制度を新を期して立ちて一團体を組織して孤獨悲話同盟と命稱せり（昨夜電）

◉支那人學童の係爭依然

美府學務課の困却

美府では既記の如く英語を解せざる支那人學童の爲に昨日から二つの隔離學校が學務課に依つて開かれたが支那人は右學校者妨害を流し依然ボイコット繼續の態度に出で學務課も困らせられた、二校は九月まで閉ぢられる事と爲つた

世界の舞臺へ是なら安心

さしもの熊谷氏を

益々御清榮

益々御清榮奉慶候陳前號の通り當會は今回從來の御愛顧に依り業務益々隆盛に赴き候に付き新に千九百廿三年最新式ハドソン號スーパーセックス七人乘り

電話三二七八

高田タキシー

ハッエッルル街三〇九半

各位

搜索廣告

宮城縣人　木村水夫

沖縄縣人　木村正勝（所餘）

右の者三月五日夜本船より脫出行方不明と相成候に付當所御通知被下候方には相當御禮可仕候

太洋丸船長　宇山丑松

增員募集

ポートアリス、スワンソンベイ

右至急募集す左記へ御申込みあれ

パッセル街二七〇

日本勸業社　前川商店

切符販賣

日本行各船

四月田帆船

◉伊豫丸　四月十二日

晩香坡市パッセル街二三一

電話事務所シーモア八一〇七

自宅ブエヤモント一八六七エル

シービーアール切符販賣代理

日本郵船　井手商會

苺苗の賣物

ローガンベリー苗　百本　四弗

ルーバーブ苗　百株　三弗

ラスベリー苗　千本　五弗

ストロベリー苗　千本　四弗

植付濟の土地五英町以上分割して貸します又は安價に賣却します

農園働き數名入用總て詳細左記へ

郵國二九四　Box 294 Mission City, B. C.

橋爪太四郎

山陽商會内

速イテ安クテ

3696

シー・モアー　サンヨータキシー

辯護士

エー・エッチ・ヤング（日本語を話します）

事務所　グランビル街七一八、パンクスビルディング七二四

電話　シーモア一六二七

貸家

家賃月三十弗、二階三間下三間、家具一切を二百弗前後で讓渡し度し居住者に適當の場所

千葉

客自動車　電話シー一八三

メーン街二〇六裏

廣告

日本人用三年以上經驗ある者にして市内の地理に委しき者に限る月給其他面談申込所

中山義一

徵稅支署

日本人部調査員

ヘゼルトン任

田端留之助

留同胞諸彦

▲當國内にて各種の營業を爲し又は勞働に從事する者は總て昨年一ケ年間に於ける收支計算報告書を四三十日迄に登出すべし

▲右報告に要する用紙は晩市バウエル街二三五中山事務所又は西ベンダー街四〇二番署より受取られたし

◀右報告を前記の期日までに登出さざる者は罰金を課せらる

加奈陀インカムタキス

シービーアール徵稅支署

高尾ヒデ

儀本日弁護の際は御多忙中恐縮能く御傳有奉萬謝

高尾新太郎

高田タキシー

井手商會

◎當國政府及領事館屆出願書

山下自動車

電話　新二七三

日本運送社

晩市ステブストン間荷物自動車の御用は

晩市ゴーラン街二〇五

申込所ヤタキシ内

苺苗の賣物

ローガンベリー苗　百本　四弗

ルーバーブ苗　百株　三弗

ラスベリー苗　千本　五弗

ストロベリー苗　千本　四弗

植付濟の土地五英町以上分割して貸します又は安價に賣却します

農園働き數名入用總て詳細左記へ

郵國二九四　Box 294 Mission City, B. C.

橋爪太四郎

山下自動車

電話　新二七三

日本運送社

晩市ステブストン間荷物自動車の御用は

晩市ゴーラン街二〇五

申込所ヤタキシ内

增員募集

宮城縣人　木村水夫

沖縄縣人　木村正勝（所餘）

右の者三月五日夜本船より脫出行方不明と相成候に付當所御通知被下候方には相當御禮可仕候

太洋丸船長　宇山丑松

搜索廣告

宮城縣人　木村水夫

沖縄縣人　木村正勝（所餘）

右の者三月五日夜本船より脫出行方不明と相成候に付當所御通知被下候方には相當御禮可仕候

太洋丸船長　宇山丑松

御禮廣告

亡夫長左衛門儀大正九年十一月の勸めにより紐育生命保險會社代理人

濱垣貞一殿

濱垣貞一氏

亡夫長左衛門儀大正九年十一月の勸めにより紐育生命保險會社代理人

濱垣貞一殿

診察時間

自午前十時至午後八時

内外科、婦人科、小兒科

公認下高原醫院

ドクトル下高原率藏

事務所　フェヤビュー街メーン街角

自宅　フェヤビュー街第十街三四

電話事務所シー一三五五

同自宅ベビュー四〇六

寫眞術習得生

御希望の方はメーン街二〇四へ御來談を乞ふ

中町寫眞館

寫眞術習得生

御希望の方はメーン街二〇四へ御來談を乞ふ

中町寫眞館

育生命保險

入致仕候處今回契約金額正に領收仕候處は世界最大堅固なるニューヨーク生命保險會社の確實と拂渡の迅速なること並に貴下の恩切なる取扱を深く謝し併而皆さん老後貯蓄の爲亦家族の爲子女教育資金として特に紐育生命保險に御加入の程御勸め申上げます

大正十二年四月九日

亡長左衛門妻　松井フジノ

紐育生命保險會社代理人

濱垣貞一殿

濱垣貞一氏

育生命保險

入致仕候處今回契約金額正に領收仕候處は世界最大堅固なるニューヨーク生命保險會社の確實と拂渡の迅速なること並に貴下の恩切なる取扱を深く謝し併而皆さん老後貯蓄の爲亦家族の爲子女教育資金として特に紐育生命保險に御加入の程御勸め申上げます

大正十二年四月九日

亡長左衛門妻　松井フジノ

紐育生命保險會社代理人

濱垣貞一殿

御禮廣告

亡夫長左衛門儀大正九年十一月の勸めにより紐育生命保險會社代理人

濱垣貞一殿

奥村事務所

電話シー一六四六七

パイニ〇六三アール

ルーミング賣物

寄敷　七十室　價三千五百弗

リース　初年三ケ年は月二百弗

商況は年中通じて上等にて家主より直接引渡したし出來得る限り現金

拂込等はイーゼルに相談す

土地家屋農業地等最も確格のビンチャンス賣物有之候間土地に關する數理務英文契約書登記公證、通辯代書事務所直接申込

バッセル街三三三

奥村事務所

電話シー一六四六七

パイニ〇六三アール

◉今明日の天氣豫報

大概晴れ、濕度、曇天（昨日五六度）

▲十一日　午前　午後　三三〇

▲十二日　午前　午後　三三〇

▲十三日　午前　午後　一三三

▲十四日　午前　午後　一三三

▲十五日　午前　午後　一三三

▲十六日　午前　午後　一三三

▲十七日　午前　午後　一三三

▲十八日　午前　午後　一三三

▲十九日　午前　午後　一三三

▲二十日　午前　午後　一三三

▲二十一日　午前　午後　一三三

▲二十二日　午前　午後　一三三

▲二十三日　午前　午後　一三三

▲二十四日　午前　午後　一三三

▲二十五日　午前　午後　一三三

▲二十六日　午前　午後　一三三

▲二十七日　午前　午後　一三三

▲二十八日　午前　午後　一三三

▲二十九日　午前　午後　一三三

▲三十日　午前　午後　一三三

▲三十一日　午前　午後　一三三

▲三十二日　午前　午後　一三三

▲三十三日　午前　午後　一三三

▲三十四日　午前　午後　一三三

▲三十五日　午前　午後　一三三

▲三十六日　午前　午後　一三三

▲三十七日　午前　午後　一三三

▲三十八日　午前　午後　一三三

▲三十九日　午前　午後　一三三

▲四十日　午前　午後　一三三

▲四十一日　午前　午後　一三三

▲四十二日　午前　午後　一三三

▲四十三日　午前　午後　一三三

▲四十四日　午前　午後　一三三

▲四十五日　午前　午後　一三三

▲四十六日　午前　午後　一三三

▲四十七日　午前　午後　一三三

▲四十八日　午前　午後　一三三

▲四十九日　午前　午後　一三三

▲五十日　午前　午後　一三三

▲五十一日　午前　午後　一三三

▲五十二日　午前　午後　一三三

▲五十三日　午前　午後　一三三

▲五十四日　午前　午後　一三三

▲五十五日　午前　午後　一三三

▲五十六日　午前　午後　一三三

▲五十七日　午前　午後　一三三

▲五十八日　午前　午後　一三三

▲五十九日　午前　午後　一三三

▲六十日　午前　午後　一三三

▲六十一日　午前　午後　一三三

▲六十二日　午前　午後　一三三

▲六十三日　午前　午後　一三三

▲六十四日　午前　午後　一三三

▲六十五日　午前　午後　一三三

▲六十六日　午前　午後　一三三

▲六十七日　午前　午後　一三三

▲六十八日　午前　午後　一三三

▲六十九日　午前　午後　一三三

▲七十日　午前　午後　一三三

▲七十一日　午前　午後　一三三

▲七十二日　午前　午後　一三三

▲七十三日　午前　午後　一三三

▲七十四日　午前　午後　一三三

▲七十五日　午前　午後　一三三

▲七十六日　午前　午後　一三三

▲七十七日　午前　午後　一三三

▲七十八日　午前　午後　一三三

▲七十九日　午前　午後　一三三

▲八十日　午前　午後　一三三

▲八十一日　午前　午後　一三三

▲八十二日　午前　午後　一三三

▲八十三日　午前　午後　一三三

▲八十四日　午前　午後　一三三

▲八十五日　午前　午後　一三三

▲八十六日　午前　午後　一三三

▲八十七日　午前　午後　一三三

▲八十八日　午前　午後　一三三

▲八十九日　午前　午後　一三三

▲九十日　午前　午後　一三三

▲九十一日　午前　午後　一三三

▲九十二日　午前　午後　一三三

▲九十三日　午前　午後　一三三

▲九十四日　午前　午後　一三三

▲九十五日　午前　午後　一三三

▲九十六日　午前　午後　一三三

▲九十七日　午前　午後　一三三

▲九十八日　午前　午後　一三三

▲九十九日　午前　午後　一三三

▲百日　午前　午後　一三三

▲百一日　午前　午後　一三三

▲百二日　午前　午後　一三三

▲百三日　午前　午後　一三三

▲百四日　午前　午後　一三三

▲百五日　午前　午後　一三三

▲百六日　午前　午後　一三三

▲百七日　午前　午後　一三三

▲百八日　午前　午後　一三三

▲百九日　午前　午後　一三三

▲百十日　午前　午後　一三三

▲百十一日　午前　午後　一三三

▲百十二日　午前　午後　一三三

▲百十三日　午前　午後　一三三

▲百十四日　午前　午後　一三三

▲百十五日　午前　午後　一三三

▲百十六日　午前　午後　一三三

▲百十七日　午前　午後　一三三

▲百十八日　午前　午後　一三三

▲百十九日　午前　午後　一三三

▲百二十日　午前　午後　一三三

▲百二十一日　午前　午後　一三三

▲百二十二日　午前　午後　一三三

▲百二十三日　午前　午後　一三三

▲百二十四日　午前　午後　一三三

▲百二十五日　午前　午後　一三三

▲百二十六日　午前　午後　一三三

▲百二十七日　午前　午後　一三三

▲百二十八日　午前　午後　一三三

▲百二十九日　午前　午後　一三三

▲百三十日　午前　午後　一三三

▲百三十一日　午前　午後　一三三

▲百三十二日　午前　午後　一三三

▲百三十三日　午前　午後　一三三

▲百三十四日　午前　午後　一三三

▲百三十五日　午前　午後　一三三

▲百三十六日　午前　午後　一三三

▲百三十七日　午前　午後　一三三

▲百三十八日　午前　午後　一三三

▲百三十九日　午前　午後　一三三

▲百四十日　午前　午後　一三三

▲百四十一日　午前　午後　一三三

▲百四十二日　午前　午後　一三三

▲百四十三日　午前　午後　一三三

▲百四十四日　午前　午後　一三三

▲百四十五日　午前　午後　一三三

▲百四十六日　午前　午後　一三三

▲百四十七日　午前　午後　一三三

▲百四十八日　午前　午後　一三三

▲百四十九日　午前　午後　一三三

▲百五十日　午前　午後　一三三

▲百五十一日　午前　午後　一三三

▲百五十二日　午前　午後　一三三

▲百五十三日　午前　午後　一三三

▲百五十四日　午前　午後　一三三

▲百五十五日　午前　午後　一三三

▲百五十六日　午前　午後　一三三

▲百五十七日　午前　午後　一三三

▲百五十八日　午前　午後　一三三

▲百五十九日　午前　午後　一三三

▲百六十日　午前　午後　一三三

▲百六十一日　午前　午後　一三三

▲百六十二日　午前　午後　一三三

▲百六十三日　午前　午後　一三三

▲百六十四日　午前　午後　一三三

▲百六十五日　午前　午後　一三三

▲百六十六日　午前　午後　一三三

▲百六十七日　午前　午後　一三三

▲百六十八日　午前　午後　一三三

▲百六十九日　午前　午後　一三三

▲百七十日　午前　午後　一三三

▲百七十一日　午前　午後　一三三

▲百七十二日　午前　午後　一三三

▲百七十三日　午前　午後　一三三

▲百七十四日　午前　午後　一三三

▲百七十五日　午前　午後　一三三

▲百七十六日　午前　午後　一三三

▲百七十七日　午前　午後　一三三

▲百七十八日　午前　午後　一三三

▲百七十九日　午前　午後　一三三

▲百八十日　午前　午後　一三三

▲百八十一日　午前　午後　一三三

▲百八十二日　午前　午後　一三三

▲百八十三日　午前　午後　一三三

▲百八十四日　午前　午後　一三三

▲百八十五日　午前　午後　一三三

▲百八十六日　午前　午後　一三三

▲百八十七日　午前　午後　一三三

▲百八十八日　午前　午後　一三三

▲百八十九日　午前　午後　一三三

▲百九十日　午前　午後　一三三

▲百九十一日　午前　午後　一三三

▲百九十二日　午前　午後　一三三

▲百九十三日　午前　午後　一三三

▲百九十四日　午前　午後　一三三

▲百九十五日　午前　午後　一三三

▲百九十六日　午前　午後　一三三

▲百九十七日　午前　午後　一三三

▲百九十八日　午前　午後　一三三

▲百九十九日　午前　午後　一三三

▲二百日　午前　午後　一三三

▲二百一日　午前　午後　一三三

▲二百二日　午前　午後　一三三

▲二百三日　午前　午後　一三三

▲二百四日　午前　午後　一三三

▲二百五日　午前　午後　一三三

▲二百六日　午前　午後　一三三

▲二百七日　午前　午後　一三三

▲二百八日　午前　午後　一三三

▲二百九日　午前　午後　一三三

▲二百十日　午前　午後　一三三

▲二百十一日　午前　午後　一三三

▲二百十二日　午前　午後　一三三

▲二百十三日　午前　午後　一三三

▲二百十四日　午前　午後　一三三

▲二百十五日　午前　午後　一三三

▲二百十六日　午前　午後　一三三

▲二百十七日　午前　午後　一三三

▲二百十八日　午前　午後　一三三

▲二百十九日　午前　午後　一三三

▲二百二十日　午前　午後　一三三

▲二百二十一日　午前　午後　一三三

▲二百二十二日　午前　午後　一三三

▲二百二十三日　午前　午後　一三三

▲二百二十四日　午前　午後　一三三

▲二百二十五日　午前　午後　一三三

▲二百二十六日　午前　午後　一三三

▲二百二十七日　午前　午後　一三三

▲二百二十八日　午前　午後　一三三

▲二百二十九日　午前　午後　一三三

▲二百三十日　午前　午後　一三三

▲二百三十一日　午前　午後　一三三

▲二百三十二日　午前　午後　一三三

▲二百三十三日　午前　午後　一三三

▲二百三十四日　午前　午後　一三三

▲二百三十五日　午前　午後　一三三

▲二百三十六日　午前　午後　一三三

▲二百三十七日　午前　午後　一三三

▲二百三十八日　午前　午後　一三三

▲二百三十九日　午前　午後　一三三

▲二百四十日　午前　午後　一三三

▲二百四十一日　午前　午後　一三三

▲二百四十二日　午前　午後　一三三

▲二百四十三日　午前　午後　一三三

▲二百四十四日　午前　午後　一三三

▲二百四十五日　午前　午後　一三三

▲二百四十六日　午前　午後　一三三

▲二百四十七日　午前　午後　一三三

▲二百四十八日　午前　午後　一三三

▲二百四十九日　午前　午後　一三三

▲二百五十日　午前　午後　一三三

▲二百五十一日　午前　午後　一三三

▲二百五十二日　午前　午後　一三三

▲二百五十三日　午前　午後　一三三

▲二百五十四日　午前　午後　一三三

▲二百五十五日　午前　午後　一三三

▲二百五十六日　午前　午後　一三三

▲二百五十七日　午前　午後　一三三

▲二百五十八日　午前　午後　一三三

▲二百五十九日　午前　午後　一三三

▲二百六十日　午前　午後　一三三

▲二百六十一日　午前　午後　一三三

▲二百六十二日　午前　午後　一三三

▲二百六十三日　午前　午後　一三三

▲二百六十四日　午前　午後　一三三

▲二百六十五日　午前　午後　一三三

▲二百六十六日　午前　午後　一三三

▲二百六十七日　午前　午後　一三三

▲二百六十八日　午前　午後　一三三

▲二百六十九日　午前　午後　一三三

▲二百七十日　午前　午後　一三三

▲二百七十一日　午前　午後　一三三

▲二百七十二日　午前　午後　一三三

▲二百七十三日　午前　午後　一三三

▲二百七十四日　午前　午後　一三三

▲二百七十五日　午前　午後　一三三

▲二百七十六日　午前　午後　一三三

▲二百七十七日　午前　午後　一三三

▲二百七十八日　午前　午後　一三三

▲二百七十九日　午前　午後　一三三

▲二百八十日　午前　午後　一三三

▲二百八十一日　午前　午後　一三三

▲二百八十二日　午前　午後　一三三

▲二百八十三日　午前　午後　一三三

▲二百八十四日　午前　午後　一三三

▲二百八十五日　午前　午後　一三三

▲二百八十六日　午前　午後　一三三

▲二百八十七日　午前　午後　一三三

▲二百八十八日　午前　午後　一三三

▲二百八十九日　午前　午後　一三三

▲二百九十日　午前　午後　一三三

▲二百九十一日　午前　午後　一三三

▲二百九十二日　午前　午後　一三三

▲二百九十三日　午前　午後　一三三

▲二百九十四日　午前　午後　一三三

▲二百九十五日　午前　午後　一三三

▲二百九十六日　午前　午後　一三三

▲二百九十七日　午前　午後　一三三

▲二百九十八日　午前　午後　一三三

▲二百九十九日　午前　午後　一三三

▲三百日　午前　午後　一三三

▲三百一日　午前　午後　一三三

▲三百二日　午前　午後　一三三

▲三百三日　午前　午後　一三三

▲三百四日　午前　午後　一三三

▲三百五日　午前　午後　一三三

▲三百六日　午前　午後　一三三

▲三百七日　午前　午後　一三三

▲三百八日　午前　午後　一三三

▲三百九日　午前　午後　一三三

▲三百十日　午前　午後　一三三

▲三百十一日　午前　午後　一三三

▲三百十二日　午前　午後　一三三

▲三百十三日　午前　午後　一三三

▲三百十四日　午前　午後　一三三

▲三百十五日　午前　午後　一三三

▲三百十六日　午前　午後　一三三

▲三百十七日　午前　午後　一三三

▲三百十八日　午前　午後　一三三

▲三百十九日　午前　午後　一三三

▲三百二十日　午前　午後　一三三

▲三百二十一日　午前　午後　一三三

▲三百二十二日　午前　午後　一三三

▲三百二十三日　午前　午後　一三三

▲三百二十四日　午前　午後　一三三

▲三百二十五日　午前　午後　一三三

▲三百二十六日　午前　午後　一三三

▲三百二十七日　午前　午後　一三三

▲三百二十八日　午前　午後　一三三

▲三百二十九日　午前　午後　一三三

▲三百三十日　午前　午後　一三三

▲三百三十一日　午前　午後　一三三

▲三百三十二日　午前　午後　一三三

▲三百三十三日　午前　午後　一三三

▲三百三十四日　午前　午後　一三三

▲三百三十五日　午前　午後　一三三

▲三百三十六日　午前　午後　一三三

▲三百三十七日　午前　午後　一三三

▲三百三十八日　午前　午後　一三三

▲三百三十九日　午前　午後　一三三

▲三百四十日　午前　午後　一三三

▲三百四十一日　午前　午後　一三三

▲三百四十二日　午前　午後　一三三

▲三百四十三日　午前　午後　一三三

▲三百四十四日　午前　午後　一三三

▲三百四十五日　午前　午後　一三三

▲三百四十六日　午前　午後　一三三

▲三百四十七日　午前　午後　一三三

▲三百四十八日　午前　午後　一三三

▲三百四十九日　午前　午後　一三三

▲三百五十日　午前　午後　一三三

▲三百五十一日　午前　午後　一三三

▲三百五十二日　午前　午後　一三三

▲三百五十三日　午前　午後　一三三

▲三百五十四日　午前　午後　一三三

▲三百五十五日　午前　午後　一三三

▲三百五十六日　午前　午後　一三三

▲三百五十七日　午前　午後　一三三

▲三百五十八日　午前　午後　一三三

▲三百五十九日　午前　午後　一三三

▲三百六十日　午前　午後　一三三

▲三百六十一日　午前　午後　一三三

▲三百六十二日　午前　午後　一三三

▲三百六十三日　午前　午後　一三三

▲三百六十四日　午前　午後　一三三

▲三百六十五日　午前　午後　一三三

▲三百六十六日　午前　午後　一三三

▲三百六十七日　午前　午後　一三三

▲三百六十八日　午前　午後　一三三

▲三百六十九日　午前　午後　一三三

▲三百七十日　午前　午後　一三三

▲三百七十一日　午前　午後　一三三

▲三百七十二日　午前　午後　一三三

▲三百七十三日　午前　午後　一三三

▲三百七十四日　午前　午後　一三三

▲三百七十五日　午前　午後　一三三

▲三百七十六日　午前　午後　一三三

▲三百七十七日　午前　午後　一三三

▲三百七十八日　午前　午後　一三三

▲三百七十九日　午前　午後　一三三

▲三百八十日　午前　午後　一三三

▲三百八十一日　午前　午後　一三三

▲三百八十二日　午前　午後　一三三

▲三百八十三日　午前　午後　一三三

▲三百八十四日　午前　午後　一三三

▲三百八十五日　午前　午後　一三三

▲三百八十六日　午前　午後　一三三

▲三百八十七日　午前　午後　一三三

▲三百八十八日　午前　午後　一三三

▲三百八十九日　午前　午後　一三三

▲三百九十日　午前　午後　一三三

▲三百九十一日　午前　午後　一三三

▲三百九十二日　午前　午後　一三三

▲三百九十三日　午前　午後　一三三

▲三百九十四日　午前　午後　一三三

▲三百九十五日　午前　午後　一三三

▲三百九十六日　午前　午後　一三三

▲三百九十七日　午前　午後　一三三

▲三百九十八日　午前　午後　一三三

▲三百九十九日　午前　午後　一三三

▲四百日　午前　午後　一三三

▲四百一日　午前　午後　一三三

▲四百二日　午前　午後　一三三

▲四百三日　午前　午後　一三三

▲四百四日　午前　午後　一三三

▲四百五日　午前　午後　一三三

▲四百六日　午前　午後　一三三

▲四百七日　午前　午後　一三三

▲四百八日　午前　午後　一三三

▲四百九日　午前　午後　一三三

▲四百十日　午前　午後　一三三

▲四百十一日　午前　午後　一三三

▲四百十二日　午前　午後　一三三

▲四百十三日　午前　午後　一三三

▲四百十四日　午前　午後　一三三

▲四百十五日　午前　午後　一三三

▲四百十六日　午前　午後　一三三

▲四百十七日　午前　午後　一三三

▲四百十八日　午前　午後　一三三

▲四百十九日　午前　午後　一三三

▲四百二十日　午前　午後　一三三

▲四百二十一日　午前　午後　一三三

▲四百二十二日　午前　午後　一三三

▲四百二十三日　午前　午後　一三三

▲四百二十四日　午前　午後　一三三

▲四百二十五日　午前　午後　一三三

▲四百二十六日　午前　午後　一三三

▲四百二十七日　午前　午後　一三三

▲四百二十八日　午前　午後　一三三

▲四百二十九日　午前　午後　一三三

▲四百三十日　午前　午後　一三三

▲四百三十一日　午前　午後　一三三

▲四百三十二日　午前　午後　一三三

▲四百三十三日　午前　午後　一三三

▲四百三十四日　午前　午後　一三三

▲四百三十五日　午前　午後　一三三

▲四百三十六日　午前　午後　一三三

▲四百三十七日　午前　午後　一三三

▲四百三十八日　午前　午後　一三三

▲四百三十九日　午前　午後　一三三

▲四百四十日　午前　午後　一三三

▲四百四十一日　午前　午後　一三三

▲四百四十二日　午前　午後　一三三

▲四百四十三日　午前　午後　一三三

▲四百四十四日　午前　午後　一三三

▲四百四十五日　午前　午後　一三三

▲四百四十六日　午前　午後　一三三

▲四百四十七日　午前　午後　一三三

▲四百四十八日　午前　午後　一三三

▲四百四十九日　午前　午後　一三三

▲四百五十日　午前　午後　一三三

▲四百五十一日　午前　午後　一三三

▲四百五十二日　午前　午後　一三三

▲四百五十三日　午前　午後　一三三

▲四百五十四日　午前　午後　一三三

▲四百五十五日　午前　午後　一三三

▲四百五十六日　午前　午後　一三三

▲四百五十七日　午前　午後　一三三

▲四百五十八日　午前　午後　一三三

▲四百五十九日　午前　午後　一三三

▲四百六十日　午前　午後　一三三

▲四百六十一日　午前　午後　一三三

▲四百六十二日　午前　午後　一三三

▲四百六十三日　午前　午後　一三三

▲四百六十四日　午前　午後　一三三

▲四百六十五日　午前　午後　一三三

▲四百六十六日　午前　午後　一三三

▲四百六十七日　午前　午後　一三三

▲四百六十八日　午前　午後　一三三

▲四百六十九日　午前　午後　一三三

▲四百七十日　午前　午後　一三三

▲四百七十一日　午前　午後　一三三

▲四百七十二日　午前　午後　一三三

▲四百七十三日　午前　午後　一三三

▲四百七十四日　午前　午後　一三三

▲四百七十五日　午前　午後　一三三

▲四百七十六日　午前　午後　一三三

▲四百七十七日　午前　午後　一三三

▲四百七十八日　午前　午後　一三三

▲四百七十九日　午前　午後　一三三

▲四百八十日　午前　午後　一三三

▲四百八十一日　午前　午後　一三三

▲四百八十二日　午前　午後　一三三

▲四百八十三日　午前　午後　一三三

▲四百八十四日　午前　午後　一三三

▲四百八十五日　午前　午後　一三三

▲四百八十六日　午前　午後　一三三

▲四百八十七日　午前　午後　一三三

▲四百八十八日　午前　午後　一三三

▲四百八十九日　午前　午後　一三三

▲四百九十日　午前　午後　一三三

▲四百九十一日　午前　午後　一三三

▲四百九十二日　午前　午後　一三三

▲四百九十三日　午前　午後　一三三

▲四百九十四日　午前　午後　一三三

▲四百九十五日　午前　午後　一三三

▲四百九十六日　午前　午後　一三三

▲四百九十七日　午前　午後　一三三

▲四百九十八日　午前　午後　一三三

▲四百九十九日　午前　午後　一三三

▲五百日　午前　午後　一三三

▲五百一日　午前　午後　一三三

▲五百二日　午前　午後　一三三

▲五百三日　午前　午後　一三三

▲五百四日　午前　午後　一三三

▲五百五日　午前　午後　一三三

▲五百六日　午前　午後　一三三

▲五百七日　午前　午後　一三三

▲五百八日　午前　午後　一三三

▲五百九日　午前　午後　一三三

▲五百十日　午前　午後　一三三

▲五百十一日　午前　午後　一三三

▲五百十二日　午前　午後　一三三

▲五百十三日　午前　午後　一三三

▲五百十四日　午前　午後　一三三

▲五百十五日　午前　午後　一三三

▲五百十六日　午前　午後　一三三

▲五百十七日　午前　午後　一三三

▲五百十八日　午前　午後　一三三

▲五百十九日　午前　午後　一三三

▲五百二十日　午前　午後　一三三

▲五百二十一日　午前　午後　一三三

▲五百二十二日　午前　午後　一三三

▲五百二十三日　午前　午後　一三三

▲五百二十四日　午前　午後　一三三

▲五百二十五日　午前　午後　一三三

▲五百二十六日　午前　午後　一三三

▲五百二十七日　午前　午後　一三三

▲五百二十八日　午前　午後　一三三

▲五百二十九日　午前　午後　一三三

▲五百三十日　午前　午後　一三三

▲五百三十一日　午前　午後　一三三

▲五百三十二日　午前　午後　一三三

▲五百三十三日　午前　午後　一三三

▲五百三十四日　午前　午後　一三三

▲五百三十五日　午前　午後　一三三

▲五百三十六日　午前　午後　一三三

▲五百三十七日　午前　午後　一三三

▲五百三十八日　午前　午後　一三三

▲五百三十九日　午前　午後　一三三

▲五百四十日　午前　午後　一三三

▲五百四十一日　午前　午後　一三三

▲五百四十二日　午前　午後　一三三

▲五百四十三日　午前　午後　一三三

▲五百四十四日　午前　午後　一三三

▲五百四十五日　午前　午後　一三三

▲五百四十六日　午前　午後　一三三

▲五百四十七日　午前　午後　一三三

▲

小說

黃金（三）

佐藤紅綠

生命（六）

慎子が歸つた後で克巳は漸く秋場を出て來た。

「どうして歸つたのだらう」

「さあどうしてゞせう」

「妙な人だなあ」と森川は首つた面してそれは自分が快く迎へなかつた爲ではなからうかと思ひ至つた時に急に狼てゝ「解らぢやない小屋がいいから泊る處もないと思つて遠慮したのだらう」と自分で解釋して「然うだ其れに違ひない」と決めてしまつた。併し彼自身は自分が秋場に引込んで逃げて居たといふ事は解りに思快であつたと思つた。

「なぜ怒れたんだらう、僕は何故慎さんを恐れるんだらう」と彼は獨りで言つた。

慎子は薄暗い心持で宿に來つた、彼女は何も彼も厭になつた、面倒して一刻も早く家庭へ歸つて獨りで考へて見たい、さうしたら能く好い考へが纏まる樣な氣がしたが家庭へ歸ると淋しさが一層激しくなつた。

「妾は氣が狂ひやしないだらうか」と彼女は思つた。良人もなく子もなく友もなき無當の孤獨、何時までこれが續くであらうか、今までの人達が來なかつた時には左程までに思はなかつたが一夜一日明やかに暮らして見ると、もう耐えきれなく淋しさが骨身に沁込む。

彼女はこの淋しさを紛らすために、三味線の唄を呼んだり、茶の湯や活花や洋樂の稽古をした、そして他の事を考へる暇がないやうにしようと思つた。彼女は又一生涯命に等物いちりを始めた、娘時代の涙手な長襦袢や物を引出しては着て見たり、頭を大ハイカラにして見たり、時には結髮返しにしたりした、紅い襦袢や帶は何より嬉しかつた、其れを着てゐる間は小娘の樣な氣になれた。幾つも〳〵人形を貰つて來ては其の着物を縫うてやる、そんな事で彼女は一日〳〵を送つた。慎子から幾度も手紙が來たけれども返事も出さなかつた。

「來る八月一日夕方拙宅に於て結婚式を擧げるから御出下さい」といふ簡單な文面であつた。彼女は暫らく考へて行かぬ事にきめた。

「行つたら能度安の氣持が惡くなるだらう」と彼女は自分に向つて言つた、それから間もなく慎子の宮の結婚の通知も來た。これにも彼女は行かなかつた。

「みんなが幸福だ、不幸なのは妾一人だ、妾は何の惡い事をしたんだらう」と彼女は獨りで言つた。

＊　＊　＊

淨いことをしても淨い報ひが來ない人がある。惡い事をしても惡い報ひが來ない人がある、原因があつても結果のないことがある。慎子は自ら何んの罪をも犯さないと信じて居る、其れと仕度して自分が幸福になれないのだらうか、それを思ふと悲しくなる、併し涙を強み出て新へやう。彼女は鏡や橋本の寫眞を眺く度に何んとも言へぬ好ましさを感じた、人々の幸福は自分にも嬉しいと思ひながら一方に自分ばかりを陷げる運命の神を呪うた。

或日後三がひよつこりやつて來る。慎子は丁度ピヤノの稽古をして居る處であつた。

「妾う御無沙汰や、御變りがなまへんか」と彼女は慎子の顏色を偸み見るやうに膝子に腰を掛け「私は其の日の出來事を話した。

「何を仰しやるんです」と慎子は面へる身體をやつと押へて、ピヤノの方を向きながら言つた。

「何をつて お前、私一人で淋しうて堪まらんのや、矢張り お前の事が忘れられんのやさかいな、惚れた弱身や、堪辛しまよか」

「折角でございますけれども、御斷り申します」と慎子はぷり〳〵して言つた。

創作

よしゑを連れて（十）

日高紀一

姦番で巡査の補を受けたときに私よりも三つ年上の松井は、ボロ〳〵涙を流して巡査の前に跪びるのだつた。私は其の時、氣の小さい奴だなア——と、ふかしく思つたのであつたが今になつて考へて見ると、矢れが松井の本當の心であるのだ。彼は本當に惡かつたことを、心から巡査に跪びたに違ひなかつた。併し恐ろしいことに世の中には、その淸い正直な心を利用して、其正直をさへ無視する人間がゐる。

「何時迄もこんな事はない、今に刺い彼等の救はれる日が來ると違ひない……」自分の心の煩鎖を避ける爲めに、私はそう一人極めして、穴の樣な三畳部屋へ這入つて行つた。

斷片的な夢ばかりに惱まされて、ウツ〳〵したかと思ふと、もう其の日も明け方に近づいて居るのであつた。

幾年振りに、私は故郷の土地を踏んだ。そして、生れ家の墓の上に寢轉びながら、松林の中に射し込む靜かな日光をジッと眺めてゐると、のんびりした氣持になつて、つい昨日迄の神戸の生活が、すつと昔のことでゞもあるかの樣な、感じがするのだつた。

二三日のうちに、永らく會はなかつた從兄や、姉の嫁入先や、親族の家を訪ねたりして、何處でも同じ樣な世間話や、だん〳〵變つて行くと云ふ田舍の風習や、すたれて行く習慣などを聞かされた。こんな田舍にも、時代の波は打寄せて來てゐるんだな——私は思つた。

私の家の、すぐ前の共同井戸へ水を汲みに來る若い娘の大方は、私の知らない人たちばかりだつた。同級生だつた女などに逢ふと、その女は、慇い笑ひを浮べて會釋をかゞめたりして通り過ぎた。

今迄、冷い、黑い鐵をばかり見て暮らした私は、共同井戸に來る年頃の女の、身を動かす度に赤や桃色の腰卷の間からチョイ〳〵のぞく肉附のよい太股を見る毎に、胸の躍るのを覺えた。

半日、其の共同井戸に入り代り立ち代り來る人たちを見て居たり、裏の大きな松の木を障子の隙間から見上げたりして、しばらく、私は寢て暮らした。

「お前はまあ、寢てばつかり居るんだね、ちつと濱へ出て、網の着くのでも見てお出で……」さういふ母親の聲は、矢張り子供の時のやうに、やさしく私の耳にひゞいた。と、父親の聲が起つた。

「お前も、網引でもせをよ——」

見るやうに膝子に腰を掛け「私は昨日濱へ出て來ましたんや」

「何を仰しやるんです」と慎子は面へる身體をやつと押へて、ピヤノの方を向きながら言つた。

「何をつて お前、私一人で淋しうて堪まらんのや、矢張り お前の事が忘れられんのやさかいな、惚れた弱身や、堪辛しまよか」

「折角でございますけれども、御斷り申します」と慎子はぷり〳〵して言つた。

◆文學や藝術は云ふ迄もなく斯る意味に於ける指標である。夫が近代に於て益〻社會的存在となつて來たのは固より然るべき所である。文學や藝術は夫自身が生活ではない。唯社會的に指標としての文學が成立するに及んで、社會的の生活を營むことが出來るのである。文學や藝術は個性に基くと云はれてゐた。夫は一面に於ては事實であるが、而も猶社會的位置を有することを忘れてはならない。存在としての個性は無價値である。社會的關係に於ける個性は價値的である。昔から個性を强調するとに依つて藝術は愛生活から遠ざかり、單に無機的存在を保つか、或は處を變へて生活の裝飾品となるに至つたのである。此場合にて個性をいふことは實は個性の自殺であつたのである。藝術を正當に生活にとり戻さんが爲めに「藝術の爲の藝術」から「生活の爲の藝術」が主眼される樣になつた。夫れは詰る所藝術を生活にとり戻すことであり、又夫を社會的一指標たらしめるとである。さうすることに依つて藝術は其正當なる位置を保持することが出來る。

—〔歌壇〕—

◇

獨り居のまゝにならざること多し慣にならねば早寢するかも

◇

目に止めて見ゆるものなく淋しさのこゝろ寵らう日並べにけり

子供のウタ

煙

石澤二郎

長い〳〵汽車から
追ひ出された黑い煙
誰もゐなくて淋しさう
稻の刈られた田の中を
たつた一人でうろついて
置いてきぼりの黑い煙

◆生活はそれ自身で進行するのであるが、その生活の本體は本能の生活である。この生活の本體はいはゞ民衆に屬するものである。民衆の生活は結局それ個々の自己保存と種族維持とに歸着し、それ以上に何等の意味を持つてゐない。その故にこの本來の生活を導く爲めに各種の機關や指標の必要が生ずるのである。斯かる機關や指標は單なる生物にあつてはそれ自身に備へてゐるところの本能である。人間のそれも亦本能に外ならない。しかも人間が社會生活を爲し、それが社會的である限り、其の本能は理智に變化する。理智とは人間の有するところの本能の働きの一部に名づけた名に過ぎない。しかも人間にとつてはそれが可なり重大なものとなつて來る。從つてそれが本來の生活を指揮し、それを導き、それの前衛となる。其れのあらゆる表明であるところの科學や藝術や哲學や、或はそれから派生出されるところの諸機能は結局本能が社會的に醇化されたものに外ならないので、それの役目は終に本能の生活、即ち民衆の生活を保證するものに外ならないのである。これを假りに指標と名づけるのである。人間の生活が社會的になればなる程、その本來の生活を保證する爲にかゝる指標が必要となつてくる。さうして時にはその意義が顚倒して指標が裝飾物や詐欺品なることもあるのである。

指標としての文學（五）

村松正俊

檢舞臺に上る

ジョン・マグロー氏の野球生活三十年（八）

其年のシーズンが終ると私は又旅に出る事になつた、恰度デル・ローソンの一團が孩馬（野球旅行をする時だつたので、早速にそれに加入し、歸途キー・ウエストに上陸して同地の强チームたるグースビルに加入した、折柄リーグの連中が同地で練習して居たので、それに相手に十數回試合を行ふ內に私の技倆も漸く世界に認められるやうになつたと見なして千八百九十一年の野球界には二十八倶樂部が出來た

メキシコ通信（三月二十日）

北米最初の文明は

東洋人が開發した

ナイブン教授が十四年の發掘作業から得た發見

米國人の考古學者ウォルアムナイブン教授は過去十四年間に亘りメキシコ平原の發掘に從事し其の有する遺物中には「コロムビア文明以前から貴重なる

發掘物

三萬を數してゐる

メキシコ市の第一人者が發掘に從事してゐるが、從來から使へられた民の發掘は、世界に一大衝動を與ふるに足る程のものであつたと其の業績を略述する此の發掘の結果得られた物は驚くべき數であり約一萬年以上の以前に於て支那人種が北米大陸に渡航した形跡があると云ふのである

燦然たる文明の

この考古人による文明は、第一期三千年第二期二千年餘都合五千年に亘る前後二時代に區分されるこれをナイブン教授の發掘に從つていふならば第一期文明に屬する遺物を有したのは地下十五呎から四十呎に至る部層で第二期のそれは第一期に優れる一層上の部層に於て認めることが出來ると云ふ前者この第一期の

地層から

採取した彫刻

寺院の壁面に彩色と著しく異なる形を刻した彫刻文字が正しく支那古代のそれと一致するものがあるが支那人使で且つ考古學に造詣深かつたオ氏が認めてゐるし各部に深く埋沒した水のため消滅したとの

墨國の

文明中に現はれ

陶器等の壁面に彫刻又は描出された人物又は石版面の彫刻等に考古化されてゐるのを認め得た前者この一萬年以前の文明に見出し得た裝飾品の中には既に文化を物語る有力の裝飾品以上の立派なものを發見することが出來たと云ふし又現在のメキシコ人中には多分考古人の形跡を見（殆んど支那人と

區別し

難いやうな者が至る處にあることも明かである、現在も從來歴史上考古の文明と

輝せられたギリシヤ、ユーフラテス地方よりも遙に數千年も溯つてかくの如き文化が北米の一角に存在したと云ふことが確められるならばこれこそ實に世界を驚嘆するに足る一大發見と云ふべき

御菓子

晩市パウエル街三九二

住よし

電話シーモア四四七五

御旅館

Wisteria Field
Dental Laboratory
Rubagate Art Work

藤原
齒科技巧院
ゲルベ美術院
パウエル街六〇六

大工
東カドバ街六四三
電話ハイ五三六二
上福重
井島野

薩摩合羽製造所

薩摩合羽は表黑裏赤
中間に油紙入
パウエル街一三六番
坂上利三

里芋大安賣

東ジョージヤ街貳貳四
電話シーモア一四七三
廣萬生

新刊書籍　近刊雜誌
ワクマン萬年筆　特約販賣店
パウエル街三五七
電話シー一五八一
内田書籍店

街二〇一　支店　パウエル書店

横濱正金銀行の依頼により日本向定期爲替手形、送金爲替手形、郵便爲替、銀行カナデアンバンク・オブ・コンマースを通じ無手數料にて日本各地へ迅速に送金取扱申べく候

S. Uchida
337 Powell St., Vancouver, B. C.

◉靴の大勉強大賣出し

良き品で
能く足に
合せて

Sovereign

値段は市内で最も安き分を
標準として賣出して居ります

グランビル街方面へ御出での折りは
是非御立寄り下さい

グランヴイル街五六六

コールダー靴店

全身タールに塗り潰された同胞

ペンタ師が屋根からタール樽の中に落ち込む

◇警察病院の珍客

昨日午後五時、警察病院（全身タールの塗り潰された人物が一人運ばれて來た）

タールに塗り潰された三人が悲しそうな顔つきで同寺の平屋建てこそ病院の平屋は珍物の入來に一方ならぬ面喰らつたもこの

タール

を使られてゐるが

同人が

此の珍劇を演じた順序といふのはかうである同日カリア濱路の某に雇はれて屋根のペンタ塗りをやつてゐたが一寸したはづみに足をとられスタントンの助手に約一瓶のギャリンを

死んだ

ものと早合點して大騒ぎとなつたトングの警察病院に搬ぎこんだ。見た人が「一度蘇生でもした赤兒の樣だ」と言つてゐたが死んだと思つたのも無理無い

米國の同胞は減る一方

歸國の方が渡航より餘程多數である

過去十四ヶ年間に於ける米本土日本人數を見ると歸國者の數は遙に渡航者の數を溢いでゐる右に關し其筋者の談によるとこの十四年間に於て渡航者數が歸國者數を超過した時は大正二、三、四、五、六年の四ヶ年の其の外の十ヶ年間は歸國者の方が非常に多いそれで過去十四年間に於ける渡航者は十萬八千八百七十五人で歸國者の數は十一萬九千五百三十七人差引一萬四千六百五十二名だけ歸國者の方が多い尙此期間を通じて三等船客中切の歸國者數は其の渡航者を超えてゐる然し二等船客は過去十四年間を通じて渡航者の方が歸國者を超えてゐるがこの歸路歐洲を經て歸朝する者を含むのであるから米國滯留者の增加と見ることは出來ない

電話

電話シーモア一四七三

廣萬生

電話

電話シーモア一四七三

廣萬生

電話

電話シーモア一四七三

廣萬生

大岡政談　畔倉雲四郎

一玄斎文海講演

第六十六席

るゝ氣色なく変て見るともう間髪の差で入れず、○目撃者の証人は大勝りに殺つて居る士二人は大勝りに殺つて居るするど居の衆人が逃げて了つて武士二人は大勝りに殺つて居る

甲「コレ／＼、間抜として逃げて了ひましたけれども、一人も居らんと云ふは不埒千萬の奴だ、我輩へ動して無駄を働いたに依つて断然んけれは刀の平前同ひ分が立たぬ、誰も居らんかコリヤ……愈居らんけれは此處へ火をつけて焼くぞ」

乙「少々御免」甲「なんだ貴様は」乙「なんだ其方は」甲「エ、手前は何人と居ります」

乙「拙者は大岡越前守」

甲「コリヤ大岡様か、一方で逃て一番きます、御奉行様とは知らず、無礼の多い東海道、況して神奈川宿と申しますれば宿内でも少々他の宿とは違ひます、全くこれは御酒の上の事だらうと考へます、どうか刀は収め下さいます様に、順に繋ぎ立てますのが至当でございます」と遠慮も無く云ひ放つた。

甲「ハテ、何しろ間抜捕役人を斬つて了ふと、殺つてゐるのでございますから、誰もが行く人が御ざいます」

乙「ウム、何か酒の上か」

甲「イヤ、一人ではございません、二人ですから手が附けられませんので、間抜捕役人も何處か、へ逃げて了ひ、間抜捕は大間違でございます」

甲「人足が間抜でもしたのか」

乙「間抜と云つても間抜番の者が何と云ふ粗忽を致しましてございますか、御立腹の段恐れ入りましてございます、ふ蛇を救さうと心得て参りました」

甲「何だ其方如き者が蛇を救したからとて怒らは間抜を救さうと云ふ譯には参らぬ、武士の刀は抜けば血を見なければ收まるものではない」

乙「御道理にはございますが、併し間抜捕役人が御様なる御無理を致しましてございますか」

甲「如何なる無理と云つて、是れを急いで繋ぎ立てなければならん、前後救しても此の物を先へ繋ぎ立てろと申した處、順でなければ繋ぎ立てられんと申すから、それは不都合ではないか、順にも逆にも松平伊豆守の御物だ、兎や角云ふと為にならんと申した處が、役人荷うしても順でなければ繋ぎ立る事はならんと申すから、左様な不都合な事はないと申したら、何方が不都合かと云ふから其方の不都合だと怒う云ふ事になつた」

甲「して見ますると、且那様が他の御物を後にして此御物を先へ繋ぎ立ると仰せられたのでございますか」

甲「如何にも然うだ、無理はならうぬ」

乙「エ、御道理のやうではございますが、それは些と御無理でございます、御物には順と云ふ事がございます、御州様か一方で逃て一番きます、御奉行様とは知らず、無理の多い東海道、況して神奈川宿と申しますれば宿内でも少々他の宿とは違ひます、全くこれは御酒の上の事だらうと考へます、どうか刀は收め下さいます様に、順に繋ぎ立てますのが至当でございます」と遠慮も無く云ひ放つた。

最新藥　ねつきりなんこう　下熱膏　一手販賣所　晩市メイン街三三　山陽商会　電話シーモア三六九六

モリタキシ　タキシーの御用なら　電話シーモア二二四〇へ　晩香坡市バウエル街三四四　森八藏　電話シーモア二二四〇　夜間シー三六七八ワイ

▲こうじ卸小賣　御希望により廿酒及糀のもと御注文に應じます美味で經濟で好評の丸一印赤白味噌御使用なさいませ御注文は電話フェアモント四八三五エル　晩市ユーコン街二〇一八　一見糀屋

再開業　負傷のため一時休業して居りましたが再び開業致しましたから相變らず御引立を願ひます　バウエル街三六六　サンルーム　猪本キヌ　電話シーモア八貳壱六エル

春から夏にかけて□御婦人用御召物　新柄は毛織木綿に係らず色々到着しました　是非御來店下さい　□其外毛糸は春向の色合豊富　切地又は毛糸見本御入用の方は遠近を問はず御一報次第御送り致します　バウエル街三四　齋牛島　みやこ商會　電話シー五七七五

御めし仕出し　バウエル街三五一　三好めし屋　電話シー四三一七

販賣所は當分左記の所に設ます　四第五街一五一七　中野靴店

應用酸素療器　オキシバザー　販賣　▲オキシバザーとは大氣中の酸素を利用し疾病を治療する器械なり　▲効能は暗病に用ひて顕著であります特にも左記の暗病に……　脳病、リウマチス、痛風、ルイレキ、白内障、腦炎、心臓、中風、癲癇、ヒステリー、うみそこひ、神病、腎臓、歯痛、耳痛、手宮病一切、持其他暗病　▲賣價　一個金三十二弗　▲尚詳細なる事は晩明書或は使用書がありますから御一覧を願ます　加奈陀二手販賣代理人　四第十一街二六一六　小野勘次郎

風ねつに　たんせきに　産前産後の悪しき人に　神經衰弱の人に　一粒金丹　一粒金丹御試し下さい　内外賣藥何でもあります　晩市メーン街二二五　笠岡開進堂　電話シーモア九二四七　一手販賣　215 Main St. Vancouver, B. C.

○日本米○加州米　落合商店　其他何品にても

晩市バウエル街三六二　柳澤元仁

うどん　そば　御手輕料理　梅月　仕出しも致しますから一寸電話をかけて下さい　電話はシーモア参九参八　メーン街壱五〇

●駅●　●渡●　海自く明けはなれたる波の上に船だ一つまくろにつながる

料理屋飯屋案内　（いろは順）

晩市ゴーア街一三〇　一力　電話シー四〇三三

晩市バウエル街四四一　林家　電話ハイランド一九九

晩市バウエル街二二九　千鳥　電話シー二六九九

アレキサンダー街三六二　よしの　電話シー二五六

ダンレビー街一三九　うどんそば　南京料理　竹の家　電話シーモア四三五七

アレキサンダー街三一〇　樂々　電話シーモア四八一四

晩市メーン街一三九　音羽亭　電話シーモア八六九五

●金類一切　晩市バウエル街二三〇　電話シーモア八七四六　パウエル金物店

和洋雜貨食料品　晩香坡市西第五街二二一　丸野商店　電話フャモント二二九七　同精米所

東洋貿易會社晩香坡支部　主任　柏政吉　西（スチングス街二〇七ドミニオン建物内二一〇六）　電話シーモア三六四七　濱垣事務所

暫時品切れにて御客様に不都合かけました　最近着荷　鳥蛇黑燒　一週間分　貳弗五拾仙　薬液吸入器　（參弗五拾仙）　如何なる喘息發作も二分間内に沈静します百日セキ肺炎咳嗽インフルエンザ肺結核氣管支加答兒に的確す　御用の節は迅速に届けます　セキ、タンガデル、トキ、チガマジル、タベモノニアジガナイ、ネアセガデル、ムネガイタム、ヤセル、イキグルシク、タンニアシキ、ホイガスル、チョイトカ、ゼヤヒイテモノンドガワルイ　パウエル街二四九　賣藥商誠心堂　電話シー四八八四

和洋雜貨食料品一切　晩市バウエル街三七九　鳴瀬商店　電話ハイ九〇四

日本行汽船切符取次仕り候　雜貨食料品　エキスプレス　晩市バウエル街四五三　郵函一二六四　電話ハイ四八九　堀善商店

男女洋服裁縫　クリーニング、プレス　ダイウォーク何れも入念　アボット街三三ウッドワード隣　ノビーダ　イウオク　鮫島吉彦　電話シーモア二二八〇

辨當並に　めしの御用は　電話シー五七八二　晩香坡市バウエル街三九三　○一めしや

お手輕料理　並に會席　梅の家　バウエル街三三二　電話シー五一八九エル

晩市メーン街二九〇〇　電話フェヤモント二七二二　ステート洋服　洗濯　染物工場　晩市ブロードウェイ街一四六　電話フェヤモント二〇七八晝夜　樋田

和洋雜貨食料品　晩市バウエル街三七九　江畑商店　電話シー三八九五

▲木材輸出商　プリンセス街三三五　花月事務所　電話ハイ一四五　335 Princess Ave. Vancouver, B. C.

和洋雜貨食料品　皇港市第三街　山中商店　P. O. Box 16, Pr. Rupert, B. C.

和洋雜貨食料品　ポートエシングトン　東洋商業會社　大橋松次郎　P.C.Box 46 Port Essington, B. C.

大工道具一切　晩市バウエル街四六三　秋山金物店　電話シーモア七五五四　自宅ハイルエ九六六一

カジ屋　鈴木均　電話シーモア四〇〇九エル

エキスプレス　今回都合により左記の所に移轉いたしましたから御用の方は誠心堂又は田中魚店（御通知下さい）　電話シー四八八四　シー五六六一　江畑運送社

時計販賣並に修繕　晩市バウエル街二四四　萩原時計店　電話シー四〇八四

和洋雜貨食料品　晩市アレキサンダー街四三三　福井商店　電話ハイ七一二　福井旅館

事務所　工場　電話シーモア六五三　ランスダウン街一六〇　電話フェア一一　大倉洗濯所　バウエル街二〇六

◎男女洋服裁縫　丼に洗濯プレス直し物一切（早速念入）　バウエル街三一四　電話ハイ三三二貳　石崎仕立所

ヴイクトリア　ウッド會社　焚木販賣　スラブ　ダブルロード　金五弗　同　シングルロード　金三弗　インサイドフアー上等　金七弗五十仙　ダブルロード　金四弗　同　シングルロード　ミックスド　ダブルロード　金六弗五十仙　コールも安く賣ります　市内遠近に不拘御注文次第早速自動車にて御届けいたします　晩市東（スチングス街二一六三）　塚本藤三郎　電話ハイランド六八七

◎御旅館　晩香坡市東カドバ街五一二　熊本屋　田中識太　電話ハイランド二三三六

肺炎になつたら一大事　NETSU　KAZE　ネツ　セキ　頭痛

從來風邪は極めて輕視せられて居りましたが種々の病原となります故早いうちに御手當が肝要であります

若し風を召されたら新見商會の●高等風藥（五十仙）を御服用下さい一服全快の解熱藥であります

若し咳が出ますならは新見商會の●鎮咳液（八十五仙）を御服用下さい　奏効確實であります

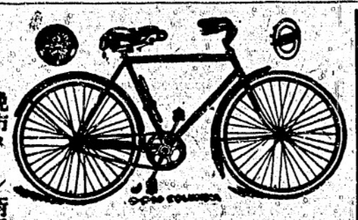
右の外左記の良藥も取揃へて居ります　▲六神丸▲實効散▲キナピリン▲（ブリン丸▲（ブリン散▲アンチピリン丸▲アンチピリン散▲サイセイ湯▲守妙▲五香▲リンリン▲呼吸器散▲アスピリン▲フエナセチン錠▲キナエン▲解熱丸▲解熱新藥オイン▲ホシ風藥▲天授▲五龍圓

バウエル街三三一　電話シー壱参参五　クスリは新見商會　T. NIMI, 331 Powell St. Vancouver, B. C.

T. MAIKAWA　369 Powell St.　Vancouver, B. C.

新荷到着　新種子各種　江州澤庵　横濱澤庵　茄子醸漬　奈良漬　丸干　千切　大根　九切大根　丸切大根　花切大根　トロ芋　サワラ粕漬　鯛煎魚　五島スルメ　氷コンニャク　干酒タ　粕コ　花ゴザ　風船アラレ　南生ボロ　花アラレ　港煎豆　鹽煎豆　其外種々

晩市バウエル街二六九　前川商店　電話シーモア参七貳壹



晩市メーン街壱壱貳　電話シー八五二〇　ターメー自轉車店

新春の自轉車着荷　本年度新式特別注文のコロムビヤ號其他各種着荷安心な保證附自轉車は常に品豊富なターメーで目新しい内より御撰定を願ます

新古取替月拂賣出し　現金十五弗毎月十弗拂　中古十五弗以上大勉强　英米加製附屬品一切見本無代進呈　子供用　大人用　モーターバイキ　四十弗　四十二弗以上六十弗及八十五弗　七十弗　各附屬品一切

裁縫實地教授所　多少裁縫に心得ある方にて裁縫法修得志望者に今回向ふ三ヶ月獨得の教授法により　◎如何にして寸法を割出すか　◎如何にして型紙を造り得るか　◎如何にして格好よく縫ひ得るか……に付て誰でも容易に會得出來る様理論と實際によつて教授致します月謝其他委細左記へ問あはせ下さい　バウエル街四六九　小林三之助

果物煙草　前川運送店　晩香坡市バウエル街三四四　電話シーモア二二四〇　稲本與十郎